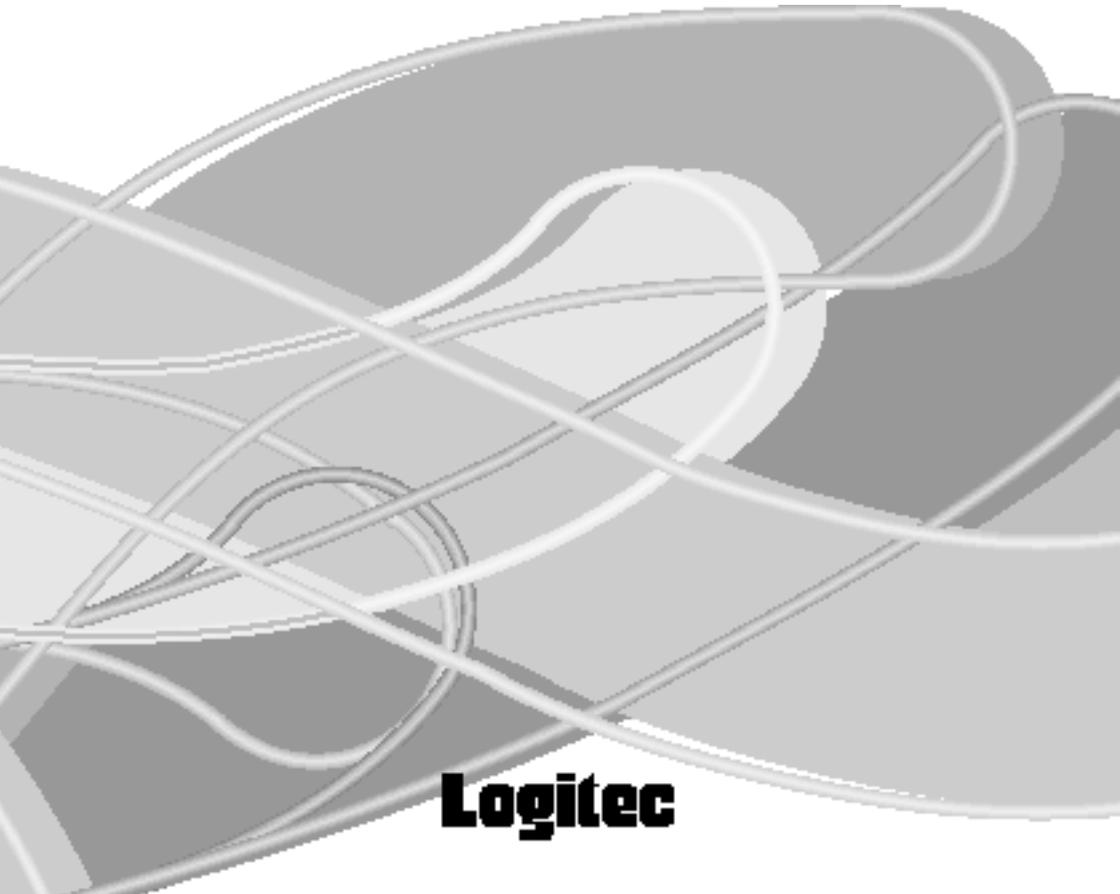


LUB-SC2 V02

USB 2.0 SCSI CABLE

USB 2.0 SCSI変換ケーブル ユーザーズマニュアル

LUB-SC2



Logitec

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

ケースは絶対に分解しないでください。内部には感電の危険性がある部分もあります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



分解禁止

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。



水濡れ禁止

衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。



その他の注意事項

ご使用の前に必ずお読みください。

ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが本製品添付のユーザー登録カード（保証書と一体で添付されているもの）に必要事項をご記入の上、ご返送いただきますようお願いいたします。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジテック株式会社 テクニカルサポート

1．使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2．著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3．規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4. 保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限ります。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限ります。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5. 免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関してもいかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業的支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6. その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録カードにより登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を接続した環境で、データがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

はじめに ...

本製品は、使用する OS により導入方法が異なります。このため、本ユーザーズマニュアルでは「Windows 編」「Macintosh 編」に分けて、本製品の接続や使用方法をご説明します。

お客様が使用されている OS に該当する箇所をご参照の上、接続 / インストール作業を行い、正しい動作環境で本製品をご使用ください。

用語について

本書では以下のような用語を使用します。

HD ユニット

外付け SCSI ハードディスクドライブを指します。

MO メディア

3.5 型光磁気ディスク (Magneto-Optical Disk) そのものを指します。

MO ユニット

3.5 型光磁気ディスクを使用するための外付けドライブを指します。

MO/HD ユニット

外付け 3.5 型光磁気ディスクドライブと、外付け SCSI ハードディスクドライブを総称した呼び方です。

USB コネクタ

USB (Universal Serial Bus) インターフェースに機器を接続するためのコネクタです。USB コネクタには 2 種類の形状があります。

パソコンに近い方のコネクタを「シリーズ A コネクタ」と呼び、断面が平たい形状をしています。

パソコンに遠い方 (機器側の) コネクタを「シリーズ B コネクタ」と呼び、断面が正方形に近い形状をしています。

Windows 編

目次

第 1 章 製品のご紹介	9
1.1 製品概要	9
1.2 動作モードについて	10
1.3 使用環境について	12
1.4 接続の前に	14
第 2 章 USB ディスクモードでの接続と取り外し	15
2.1 接続とインストール	15
2.2 接続 / インストール結果の確認	18
2.3 本製品を取り外す場合は	21
2.4 Windows Me で MO ユニットを使用する場合	23
第 3 章 SCSI エミュレーションモードでの接続と取り外し	25
3.1 接続について (共通)	25
3.2 SCSI エミュレーション用ドライバのインストール	29
3.2.1 Windows XP の場合	29
3.2.2 Windows Me の場合	34
3.2.3 Windows 98 の場合	37
3.2.4 Windows 2000 の場合	41
3.3 本製品を取り外す場合は	47
第 4 章 補足事項	49
4.1 トラブルシューティング	49
4.2 SCSI 機器別の作業	52
ハードウェア仕様	54

第 1 章 製品のご紹介

1.1 製品概要

本製品はUSB 2.0/ 1.1に対応したUSB -SCSI変換ケーブルです。

本製品の特徴

USB 対応のパソコン本体に最大 6 台までの SCSI 機器を接続することができます。拡張スロットを持たないスリムデスクトップ・パソコンなどに最適です。

USB 2.0 では High-Speed (480Mbps) の高速転送が可能ですので、USB 2.0 ポートへ接続すれば SCSI 機器のもつ高速な転送速度を損なうことなくパソコンとの間でデータ交換ができます。

もちろん、従来の USB 1.1 ポートにも接続可能ですので、多くのパソコン間で使用することができます。

本製品は SCSI ターミネータパワーと USB バスパワーを利用して動作します。AC アダプタ等が必要ありませんので、すっきりと接続することができます。

USB ポートへ接続することにより、SCSI 機器では不可能だったホットプラグが可能になりました。

1.2 動作モードについて

1

本製品はパソコンに接続する際、2種類の動作モードを選ぶことができます。ご使用になる SCSI 機器にあわせて動作モードを選択してください。

1 .USB ディスクモード

ハードディスク、MO ユニットまたは、読み込み専用の CD-ROM や DVD-ROM を 1 台のみ 接続することができます。本製品を接続すると OS 標準のドライバが自動的にインストールされるので、ドライバインストール時の複雑な作業は不要です。

(ただし、SCSI ID ナンバーは必ず「0」に設定しておかなければなりません。ご注意ください。)

このモードでは、本製品は SCSI インターフェースとしてシステムに認識されません。そのため本製品に接続された MO/HD ユニット等が、システム側から USB 仕様の記憶装置デバイスとして認識されます。

CD-R/RW のライティングソフトウェアのような、SCSI 機器を制御するソフトウェアを使用する機器は使用できません。これらの機器は「SCSI エミュレーションモード」で使用して下さい。



ご注意

このモードは Windows 98 (Secon Edition 含む) では標準ドライバが組み込まれていないため使用することができません。

2. SCSIエミュレーションモード

このモードでは、本製品がSCSIインターフェースとしてシステムに認識されます。

このモードのメリットは6台までのSCSI機器(CD-R/RW ユニットを含む) を、本製品にデジチェーン接続できることです。(ただしケーブル長の制限があるため、常に6台接続可能なわけではありません。)

複数のSCSI機器を接続する場合や、CD-RW等の「USBディスクモード」で動作できないSCSI機器を接続する場合は、「SCSIエミュレーションモード」で使用してください。「SCSIエミュレーションモード」では、本製品がSCSIホストアダプタとして動作します。



ご注意

- ・接続可能なSCSI機器は、特に制限を設けてありません。但し、全てのSCSI機器の完全動作を保証するものではありません。
-



本製品にMO/HDユニットを1台だけ接続する場合は、
「USBディスクモードでの接続と取り外し」(第2章)を、
CD-R/RWユニット等を接続したい場合や、複数のSCSI機器を
デジチェーン接続したい場合は
「SCSIエミュレーションモードでの
接続と取り外し」(第3章)を、
ご参照ください。

1.3 使用環境について

対応パソコンについて

本製品を使用する際は、以下の環境で使用することができます。全てパソコン本体にUSBポートを搭載している機種に限定されます。USB 2.0のHigh-Speed (480Mbps) 転送を実現するためには、パソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ



ご注意

本製品は日本電気株式会社のPC-9800シリーズでは使用できません。

対応 OS について

本製品に対応するOSは以下の通りです。全て日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社
Windows XP Home Edition/ Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

SCSI 機器について

SCSI 機器については順次接続確認を行っています。最新情報については弊社ホームページをご参照ください。(すべてのSCSI機器を確認することは不可能ですので、一部に対応できない機器が存在する可能性があることはご承知おきください。)



ご注意

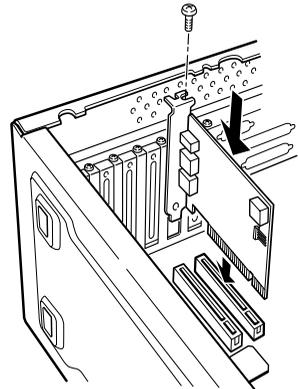
- ・ USB 1.1 ポートに接続して CD-R/RW ユニットで CD-R/RW メディアに書き込みを行う場合、USB 1.1 の転送速度が SCSI よりも遅いため、以下のような制限が発生します。
 - ・ 本製品を USB ハブ経由で接続しないでください。パソコン本体の USB コネクタに直接接続してください。
 - ・ 書き込み時には、本製品に CD-R/RW ユニット以外の SCSI 機器を接続しないでください。また、不要な USB 機器はなるべく接続を外しておいてください。
 - ・ 書き込み速度は 4 倍速以下にしてください。ライティングソフトウェアでは 4 倍速を超える速度が表示されますが、4 倍速を超える速度は選択しないでください。
 - ・ オンザフライ書き込みやオンザフライでの CD のバックアップを行う場合は書き込み速度を 2 倍速以下に設定して下さい。
 - ・ ISO9660 の CD-R/RW 書き込み時などに使用されるイメージファイル保管用のハードディスクは、本製品に接続しないでください。
-

1.4 接続の前に

USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りのUSB 2.0 インターフェイスボード（PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応USB 2.0 インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にUSB 2.0インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品をUSB 1.1ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の転送速度は従来のUSB 1.1と同じになります。）



USB 2.0インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCIバス用USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2	PCI	インターフェイスボード単体

CardBus対応USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM - CBUSB2	CardBus	インターフェイスカード単体

第 2 章

USB ディスクモードでの 接続と取り外し

ここでは、本製品を USB ディスクモードで使用する際の接続と取り外しの手順をご説明いたします。

パソコン本体の USB 2.0 ポートに接続する前提で説明をいたしますが、USB 1.1 ポートへ接続する場合も手順は同じです。ただし、本製品を USB 1.1 ポートへ接続した場合、データ転送速度は Full-Speed (12Mbps) までに制限されます。

Windows 98 (Second Edition 含む) では USB ディスクモードでの接続はできません。第 3 章「SCSI エミュレーションモードでの使用について」へお進みください。

2 . 1 接続とインストール

(Windows XP、Me、2000 共通)

1

パソコンの電源を ON にして Windows のシステムを起動しておきます。このとき、Windows XP、2000 をご使用の方は コンピュータの管理者権限を持つユーザー (例えばコンピュータの管理者や Administrator など) として ログオンしてください。



ご注意

Windows Me をインストールしたパソコンに MO ユニットのまま接続すると不具合が発生します。この不具合を回避するため、Windows Me 環境で本モードを使用して、MO ユニットをご使用の場合は、接続の前に OS の設定を変更する必要があります。詳しくは「2 . 4 Windows Me で MO ユニットを使用する場合」をご参照下さい。

2

次に SCSI 機器の準備をします。

- ・ SCSI 機器の ID ナンバーを 0 に設定して、内蔵ターミネータを「有効」に設定するか、外付けのターミネータを接続してください。

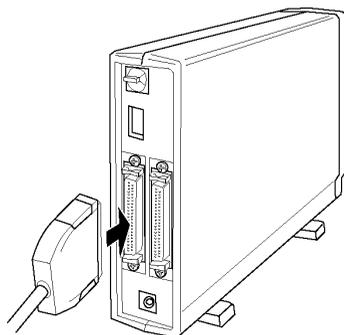


ご注意

- ・ここで、間違った ID ナンバーを使用すると本製品は認識されません。ID ナンバーは必ず 0 に設定してください。
- ・USB ディスクモードで使用できる SCSI 機器は、ハードディスク、MO、読取専用の CD-ROM と DVD-ROM に限定されます。他の機種をご使用の場合（たとえば CD-R/RW 等）は、本製品を SCSI エミュレーションモードで使用する必要があります。第 3 章「SCSI エミュレーションモードでの使用について」へお進みください。

3

USB-SCSI 変換ケーブルの SCSI コネクタ（大きい方）を SCSI 機器の SCSI コネクタに接続します。軽く引いて抜けないことを確認してください。



参考

イラストはターミネータ内蔵の SCSI 機器の場合です。ターミネータを内蔵していない SCSI 機器の場合は、外付けターミネータを接続してください。

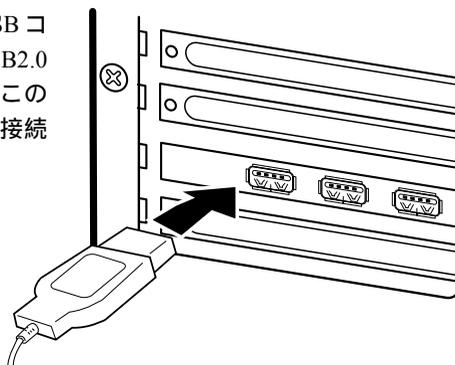
4

SCSI 機器の電源コード（もしくは AC アダプタ）を AC100V のコンセントに接続し、電源を ON にします。

SCSI 機器の電源表示ランプが点灯することを確認してください。（アクセス表示ランプが一時的に点灯した場合は、消灯するまで待ってください。）

5

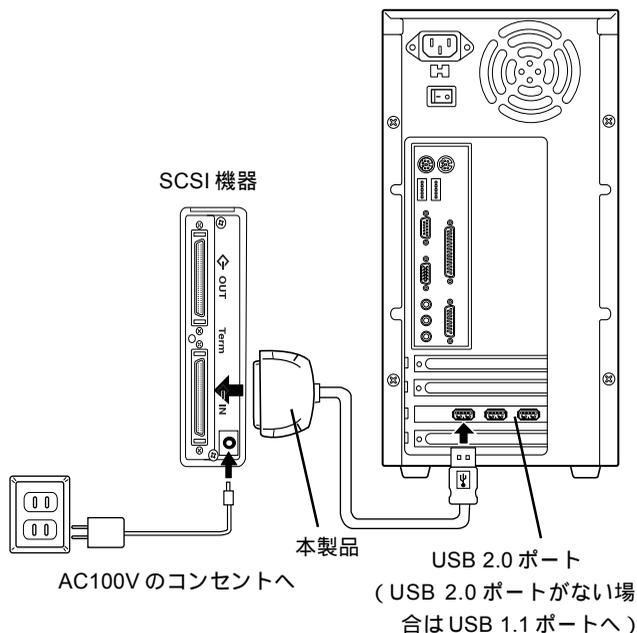
USB -SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを、パソコン本体の USB2.0 ポートに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。



6

本製品に接続されている SCSI 機器が自動的に認識され、標準ドライバがインストールされます。

以上で接続とインストールは終了です。全体の接続図は以下のようになります。



接続が上図の様になっていることを確認したら、次に結果を確認します。「2.2 接続/インストール結果の確認」へお進みください。

2 . 2 接続 / インストール結果の確認

接続とインストールが終了したら次にデバイスマネージャで、結果を確認します。

Windows XP の場合

スタートメニューから、「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」に以下のデバイスが登録されていることを確認します。

「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下に、

「USB大容量記憶装置デバイス」があることを確認。



2. 確認が終了したらクロージャボックスをクリック

デバイスが登録されていたら、本製品と接続先の SCSI 機器の認識はうまくいっています。次に本製品と SCSI 機器の取り外しについて説明いたしますので、「2 . 3 本製品を取り外す場合は」へお進みください。

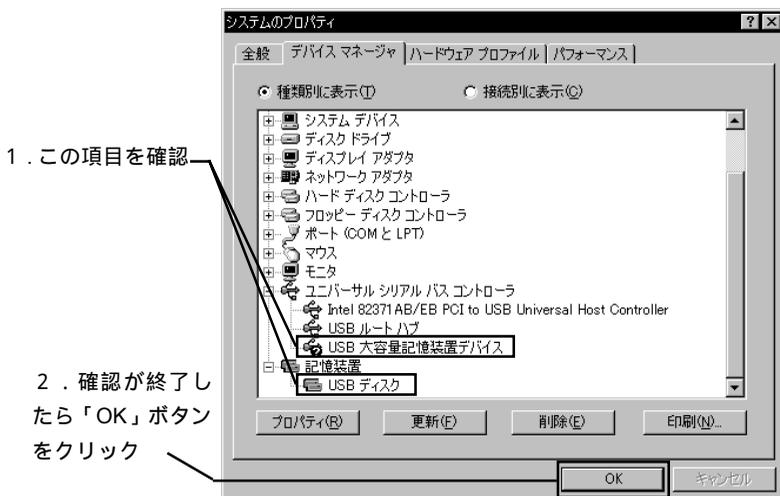
Windows Me の場合

デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」に以下の2つのデバイスが登録されていることを確認します。

- 「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下に、
「USB大容量記憶装置デバイス」があることを確認。
- 「記憶装置」の下に、
「USB ディスク」(MOの場合は「USB 光 ディスク」)
があることを確認。



デバイスが登録されていたら、本製品と接続先の SCSI 機器の認識はうまくいっています。次に本製品と SCSI 機器の取り外しについて説明いたしますので、「2.3 本製品を取り外す場合は」へお進みください。



参考

「USB大容量記憶デバイス」の表示に緑色の「？」マークが付いていますが、異常ではありません。

Windows 2000 の場合

デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」に以下の2つのデバイスが登録されていることを確認します。

- 「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下に、
- 「USB大容量記憶装置デバイス」があることを確認。



デバイスが登録されていたら、本製品と接続先の SCSI 機器の認識はうまくいっています。次に本製品と SCSI 機器の取り外しについて説明いたしますので、「2.3 本製品を取り外す場合は」へお進みください。

2.3 本製品を取り外す場合は

USB-SCSI 変換ケーブルはホットプラグオフ(パソコンの電源がONのままでの取り外し)に対応していますが、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品と本製品に接続した SCSI 機器を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

1

接続先のディスクドライブに保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。
(接続先がMOドライブなどの場合、ドライブにメディアが入っている場合は、これを取り出してください。)

2

タスクバーのシステムトレイにあるアイコンをクリックして、表示されるメニューから取り外したいドライブ名を選択してください。

Windows 2000 での例



このアイコンをクリック

Point

ポイント

ここで「E:」は接続された SCSI 機器のドライブ名ですので、環境によって異なります。また、項目に表示されるメッセージは使用OSにより異なります。以下をご参照ください。

Windows XP

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(E:)を安全に取り外します

Windows 2000

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:)を停止します

Windows Me

USB ディスク - ドライブ (E:)の停止 (ハードディスクの場合)

USB 光 ディスク - ドライブ (E:)の停止 (MO の場合)

USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止 (CD-ROM,DVD-ROMの場合)

2.3 本製品を取り外す場合は

3

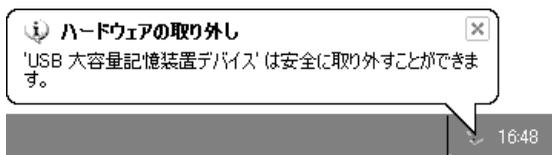
Windows Me、2000 では、本製品と本製品に接続した SCSI 機器を取り外しても良いというメッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。(このメッセージも環境により異なります。)

Windows 2000 の場合



OK ボタンをクリック

Windows XP の場合も、本製品と本製品に接続した SCSI 機器を取り外しても良いというメッセージが表示されますが、このメッセージは一定時間で自動的に消えますので特に操作をする必要はありません。



4

本製品を USB ポートから外し、SCSI 機器の電源を OFF にしてください。

2.4 Windows Me で MO ユニットを使用する場合

Windows Me にて USB ディスクモードで、そのまま MO ユニットを接続すると不具合が発生します。これを回避するために、本製品を接続する前に、Windows Me の設定変更を行います。



参考

このエラーは USB ディスクモード特有のもので、SCSI エミュレーションモードでは発生しません。

1

本製品を接続していない状態で Windows Me を起動し、「LogitecWare」CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットして下さい。

ここで、「セットアップランチャー」が自動起動したら「閉じる」ボタンをクリックして、「セットアップランチャー」を終了させておいて下さい。

2

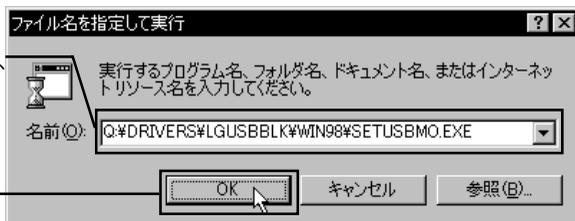
「スタート」ボタンをクリックして、「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。

3

下のウィンドウが表示されます。ここで、名前のテキストボックスに「Q:\DRIVERS\LGUSBBLK\WIN98\SETUSBMO.EXE」と入力して「OK」ボタンをクリックして下さい。

1. ここに入力して、

2. 「OK」ボタンをクリック



ポイント

ここで、「Q:」は「LogitecWare」をセットした CD-ROM ドライブのドライブ名が入ります。ドライブ名は環境により異なりますので、異なる場合は正しいドライブ名を入力して下さい。

2.4 Windows MeでMOユニットを使用する場合

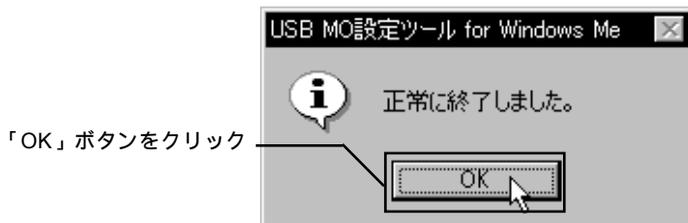
4

以下のウィンドウが表示されます。



5

「正常に終了しました。」と表示されます。



以上で、設定は終了です。

第3章

SCSIエミュレーションモード での接続と取り外し

ここでは、本製品をSCSIエミュレーションモードで使用する際の接続と取り外しの手順をご説明いたします。パソコン本体のUSB 2.0ポートに接続する前提で説明をいたしますが、USB 1.1ポートへ接続する場合も手順は同じです。ただし、本製品をUSB 1.1ポートへ接続した場合、データ転送速度はFull-Speed (12Mbps) までに制限されます。

3.1 接続について (共通)

1

パソコンの電源をONにしてWindowsのシステムを起動しておきます。このとき、Windows XP、2000をご使用の方はコンピュータの管理者権限を持つユーザー（コンピュータの管理者や Administrator など）としてログインしてください。

2

次にSCSI機器の準備をします。以下の点に注意して接続を行ってください。（SCSIエミュレーションモードでは、SCSI機器を最大6台まで接続することができます。）

- ・複数のSCSI機器を接続する場合は、SCSI機器のIDナンバーを1～6の範囲で重複しないように設定してください。（SCSIエミュレーションモードで使用する場合はID 0に機器を設定しないで下さい。）
- ・終端（パソコン本体から最も遠い位置）に接続するSCSI機器は、内蔵ターミネータを「有効」に設定するか、外付けのターミネータを接続してください。
終端以外の位置に接続するSCSI機器は、すべてターミネータを「無効」にしてください。
- ・複数のSCSI機器を接続する場合、SCSI機器同士を接続するSCSIケーブルは、SCSI機器に付属のものをご使用ください。もしSCSIケーブルが添付されていない場合は、接続するSCSIコネクタの形状にあわせて別途ご用意ください。
ケーブル長の合計とSCSI機器の接続台数は次ページの表に従いますが、ケーブル長はなるべく短くなるようにした方が動作が安定します。（ケーブル長にはUSB-SCSI変換ケーブルの長さを含みません。）

3.1 接続について（共通）

接続台数	ケーブル長の合計
3台以下	2m 以下
4台～6台	1.5m 以下

ケーブル長の合計と SCSI 機器の接続台数。

ケーブル長はなるべく短くなるようにした方が動作が安定します。

ケーブル長には USB-SCSI 変換ケーブルの長さを含みません。



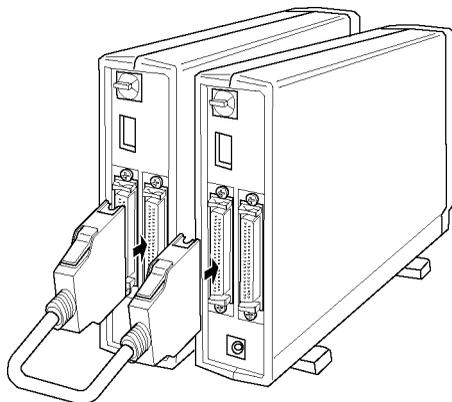
ご注意

3

接続台数が多い方が条件が厳しくなるため、ケーブル長の合計は短く制限されます。

3

SCSI 機器の設定が終わったら、接続する SCSI 機器同士を SCSI ケーブルですべて接続しておいてください。軽く引いて抜けないことを確認してください。

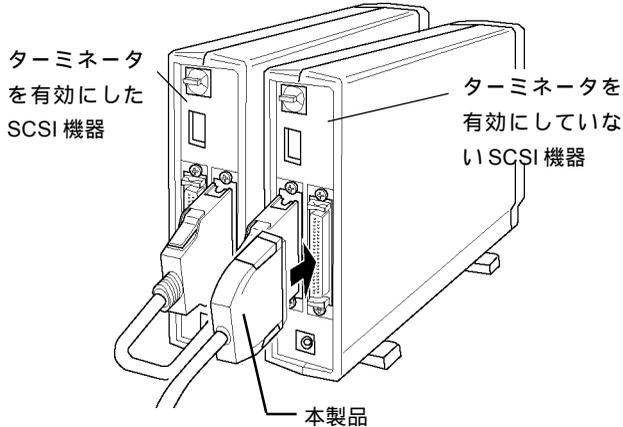


ご注意

- ・イラストはターミネータ内蔵の SCSI 機器の場合です。ターミネータを内蔵していない SCSI 機器の場合は、外付けターミネータを接続してください。
- ・オートターミネーション機能を持つ SCSI 機器の場合は、必ず SCSI IN コネクタが USB-SCSI 変換ケーブルに近い方、SCSI OUT コネクタが終端に近い方になるように接続してください。逆にすると、内蔵ターミネータが正常に制御されません。

4

USB-SCSI 変換ケーブルの SCSI コネクタ (大きい方) を SCSI 機器 (ターミネータを「有効」にしていない方) の SCSI コネクタに接続します。軽く引いて抜けないことを確認してください。



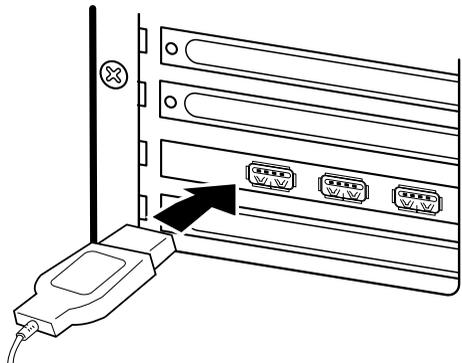
5

ここで、すべての SCSI 機器の電源コード (もしくは AC アダプタ) を AC100V のコンセントに接続し、電源を ON にしてください。

SCSI 機器の電源表示ランプが点灯することを確認し、アクセス表示ランプが一時的に点灯した場合は、消灯するまで待ってください。

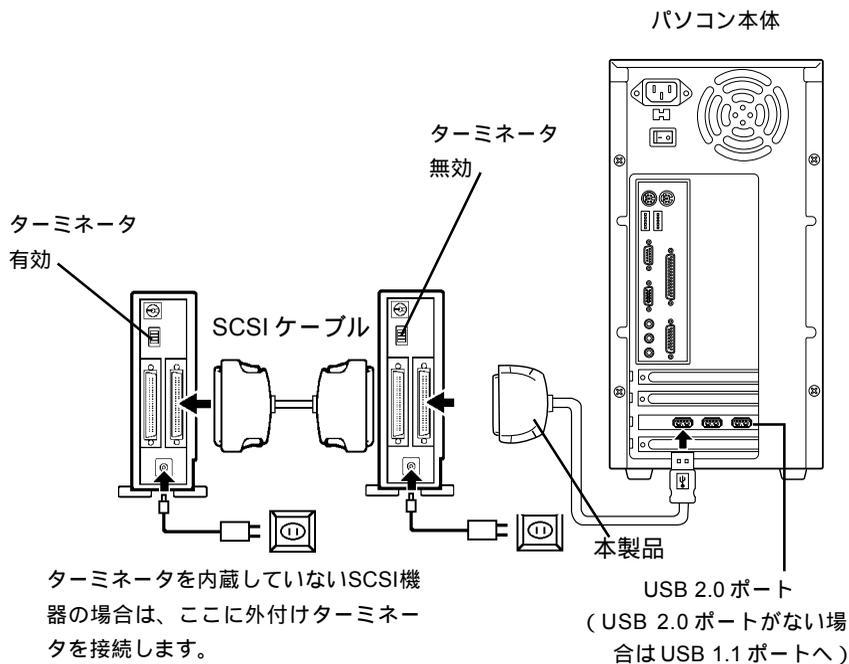
6

USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを、パソコン本体の USB2.0 ポートに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。



3.1 接続について（共通）

以上ですべての接続は終了しました。下の接続図と比較して、間違っていないことを確認してください。



接続の確認ができれば、この後、ドライバのインストールを行いますので3.2節に進んでください。3.2節の内容はOS別に説明されていますので、ご使用のOSにあった部分をお読みください。

3.2 SCSI エミュレーション用ドライバのインストール

3.2.1 Windows XP の場合

1

システムを起動後、コンピュータの管理者権限を持つユーザー（コンピュータの管理者や Administrator など）としてログオンし、「3.1 接続について」の手順に従い、本製品の USB ケーブルで、本製品をパソコン本体の USB ポートにつなぎます。



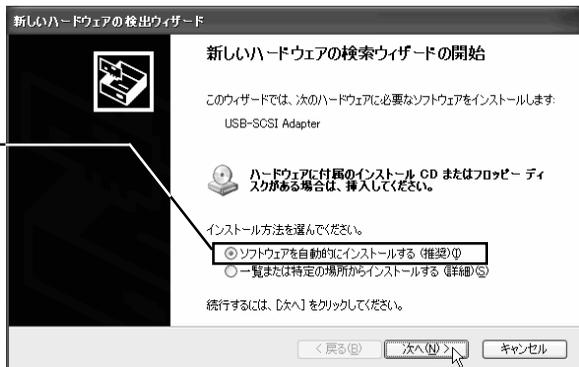
ご注意

SCSI 機器の ID ナンバーは、必ず 1 ~ 6 の範囲で重複しないように設定してください。ID ナンバー 0 は使用しないで下さい。

2

本製品がプラグ & プレイで自動的に認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。

「ソフトウェアを自動的に・・・」のラジオボタンを「ON ()」にしてください。



本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、自動的にドライバの検索が開始されます。

Point

ポイント

しばらくしてもドライバの検索が開始されない場合は「次へ」をクリックして下さい。

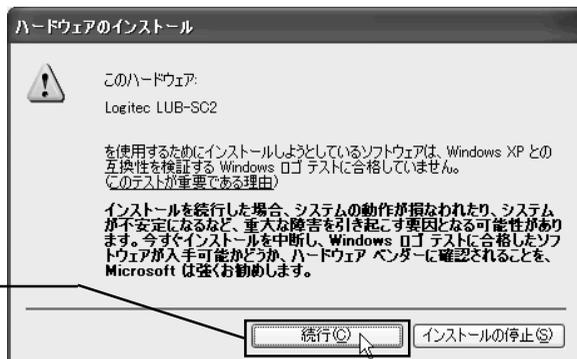
3.2 SCSIエミュレーション用ドライバのインストール

3.2.1 Windows XP の場合

3

以下のウィンドウが表示されます。そのまま「続行」をクリックして下さい。(表示されない場合は手順 へお進み下さい。)

「続行」をクリック



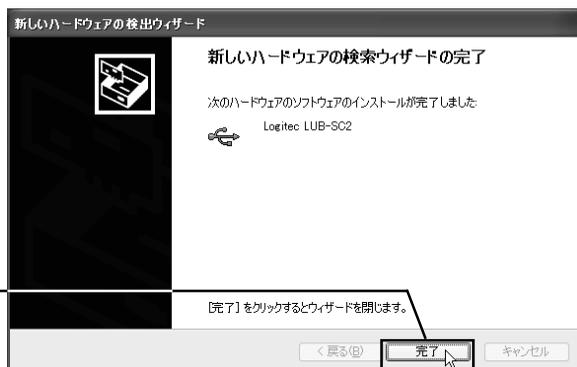
参考

- ・本製品用のドライバはWindows ログテストを受けていないので上のメッセージが表示されますが、弊社では本ドライバがWindows XP上で動作することを十分に確認して提供しております。そのままインストールをしてご使用下さい。
- ・手順6で表示されるメッセージも同様です。

4

必要なファイルがシステムに転送され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。

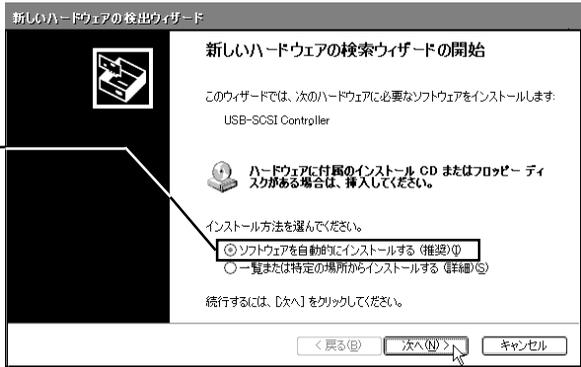
「完了」をクリック



5

すぐに続いて、SCSIコントローラの部分が認識され、以下のウィンドウが表示されます。

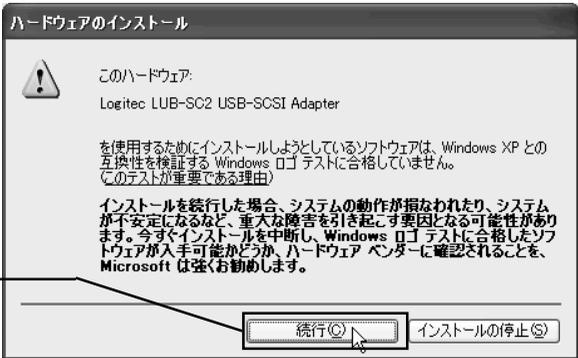
「ソフトウェアを自動的に・・・」のラジオボタンを「ON ()」にしてください。自動的にドライバの検索が開始されます。



3

6

「続行」をクリック



7

必要なファイルがシステムに転送され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック

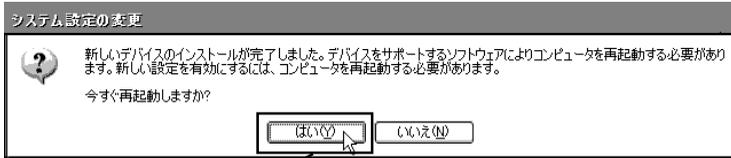


3.2 SCSIエミュレーション用ドライバのインストール

3.2.1 Windows XP の場合

8

新しい設定を有効にするため、システムの再起動を要求するメッセージが表示されます。



「はい」をクリック

3



参考

手順 のメッセージは表示されないこともあります。表示されない場合は手順 へお進み下さい。

9

以上でインストール作業は終了です。最後に「デバイスマネージャ」で結果の確認をします。

スタートメニューから、「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」に以下のデバイスが登録されていることを確認します。

「SCSI と RAID コントローラ」をダブルクリックして開き、

「Logitech LUB-SC2 USB-SCSI Adapter」があることを確認。

「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックして開き、

「Logitech LUB-SC2」があることを確認。



デバイスが登録されていたら、本製品と接続先の SCSI 機器の認識はうまくいっています。次に本製品と SCSI 機器の取り外しについて説明いたしますので、「3.3 本製品を取り外す場合は」へお進みください。

3 . 2 . 2 Windows Me の場合

1

Windows Me のシステムを起動後、「3 . 1 接続について」の手順に従い、本製品の USB ケーブルで、本製品をパソコン本体の USB ポートにつなぎます。



ご注意

SCSI 機器の ID ナンバーは、必ず 1 ~ 6 の範囲で重複しないように設定してください。ID ナンバー 0 は使用しないで下さい。

2

本製品がプラグ & プレイで自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。

「適切なドライバを自動的に・・・」のラジオボタンを「ON ()」にしてください。



本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブ にセットすると、自動的にドライバの検索が開始されます。

Point

ポイント

しばらくしてもドライバの検索が開始されない場合は「次へ」をクリックして下さい。

3

必要なファイルがシステムに転送され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。



4

続いて、自動的にSCSIコントローラの部分が認識され「Logitec LUB-SC2 USB-SCSI Adapter」ドライバがインストールされます。（ここでユーザが行う作業はありません。）

5

以上でドライバのインストールは終了です。最後に「デバイスマネージャ」で結果の確認をします。

デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」に以下の2つのデバイスが登録されていることを確認します。（次ページの図をご参照下さい）

「SCSIコントローラ」をダブルクリックして開き、

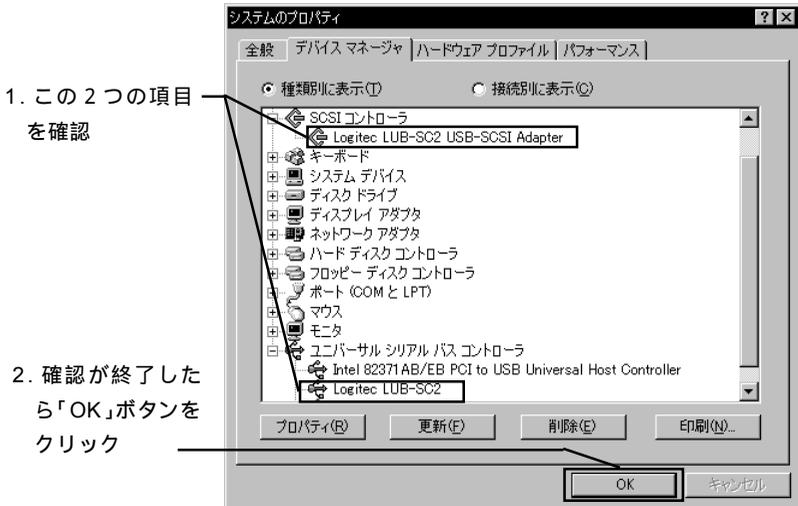
「Logitec LUB-SC2 USB-SCSI Adapter」があることを確認

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をダブルクリックして開き、

「Logitec LUB-SC2」があることを確認

3.2 SCSIエミュレーション用ドライバのインストール

3.2.2 Windows Me の場合



デバイスが登録されていたら、本製品と接続先のSCSI機器の認識はうまくいっています。次に本製品とSCSI機器の取り外しについて説明いたしますので、「3.3 本製品を取り外す場合は」へお進みください。

3.2.3 Windows 98 の場合

1

Windows 98 のシステムを起動後、「3.1 接続について」の手順に従い、本製品のUSBケーブルで、本製品をパソコン本体のUSBポートにつなぎます。



ご注意

SCSI機器のIDナンバーは、必ず1～6の範囲で重複しないように設定してください。IDナンバー0は使用しないで下さい。

2

本製品がプラグ&プレイで自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。

「次へ」をクリック



3

1. 「使用中のデバイスに最適な・・・」のラジオボタンを「ON ()」にして、

2. 「次へ」をクリック



3.2 SCSI エミュレーション用ドライバのインストール

3.2.3 Windows 98 の場合

4

下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態で、

2. ここに以下の様に入力して、

Q:\DRIVERS\LUBSC2

3. 「次へ」をクリック



Point

ポイント

ここで「Q:」は「LogitecWare」をセットしたCD-ROMドライブのドライブ名が入ります。ドライブ名は環境により異なりますので、異なる場合は正しいドライブ名を指定して下さい。

5

「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」の下に「Logitec LUB SC2」と表示されます。

1. このドライブ名を確認して、

2. 次へをクリック



6

必要なファイルがシステムに転送され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。



7

続いて、自動的にSCSIコントローラの部分が認識され「Logitec LUB-SC2 USB-SCSI Adapter」ドライバがインストールされます。(ここでユーザが行う作業はありません。)

8

以上でドライバのインストールは終了です。最後に「デバイスマネージャ」で結果の確認をします。

デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」に以下の2つのデバイスが登録されていることを確認します。(次ページの図をご参照下さい)

「SCSIコントローラ」をダブルクリックして開き、

「Logitec LUB-SC2 USB-SCSI Adapter」があることを確認

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をダブルクリックして開き、

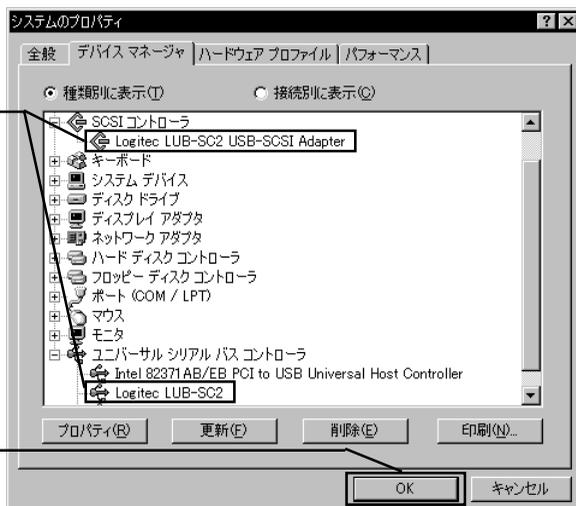
「Logitec LUB-SC2」があることを確認

3.2 SCSIエミュレーション用ドライバのインストール

3.2.3 Windows 98の場合

1. この2つの項目を確認

2. 確認が終了したら「OK」ボタンをクリック



デバイスが登録されていたら、本製品と接続先のSCSI機器の認識はうまくいっています。次に本製品とSCSI機器の取り外しについて説明いたしますので、「3.3 本製品を取り外す場合は」へお進みください。

3.2.4 Windows 2000 の場合

1

Windows 2000のシステムを起動後、「3.1 接続について」の手順に従い、本製品のUSBケーブルで、本製品をパソコン本体のUSBポートにつなぎます。

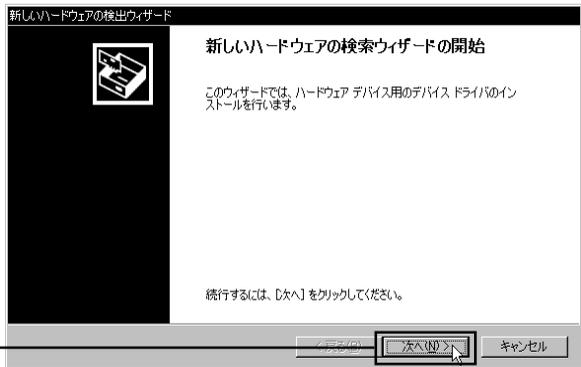


ご注意

SCSI機器のIDナンバーは、必ず1～6の範囲で重複しないように設定してください。IDナンバー0は使用しないで下さい。

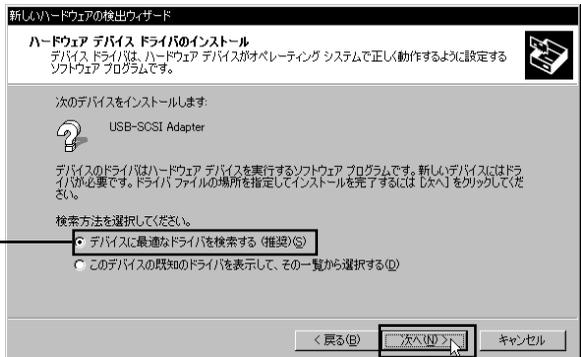
2

本製品がプラグ&プレイで自動的に認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。



「次へ」をクリック

3



1. 「デバイスに最適な・・・」のラジオボタンを「ON()」にして、

2. 「次へ」をクリック

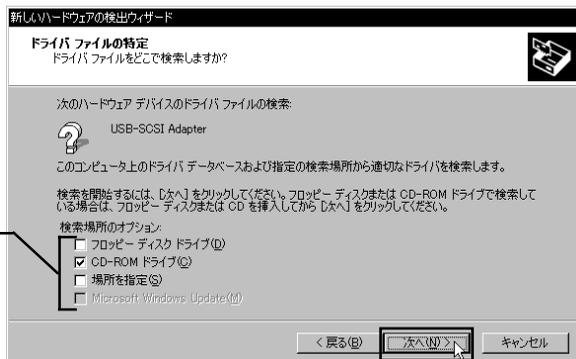
3.2 SCSI エミュレーション用ドライバのインストール

3.2.4 Windows 2000 の場合

4

下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

1. 「CD-ROM ドライブ」だけがチェックされた状態で、

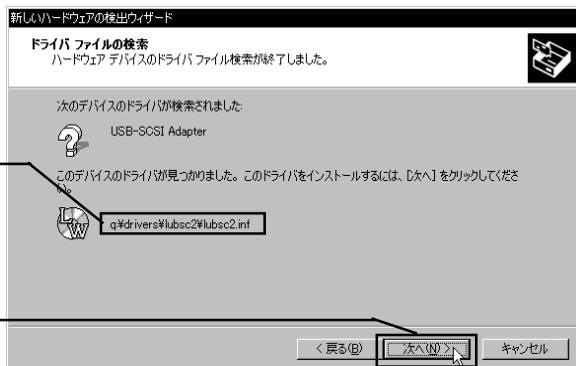


2. 「次へ」をクリック

5

下のウィンドウが表示されます。「このデバイスのドライバが見つかりました。・・・」の下に「q:\drivers\lubsc2\lubsc2.inf」と表示されていることを確認して「次へ」をクリックしてください。

1. この部分を確認して



2. 「次へ」をクリック

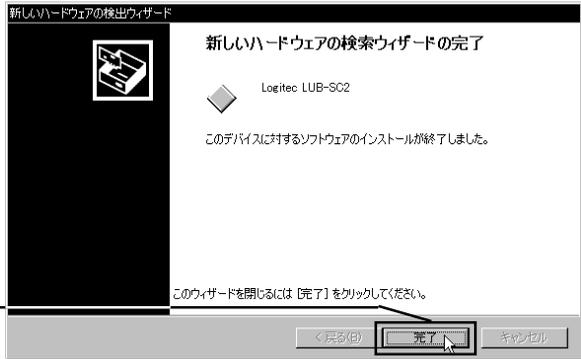
Point

ポイント

ここで「Q:」は「LogitecWare」をセットしたCD-ROMドライブのドライバ名が入ります。

6

必要なファイルがシステムに転送され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。

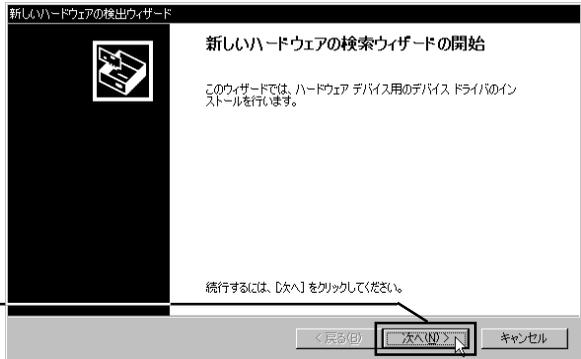


「完了」をクリック

3

7

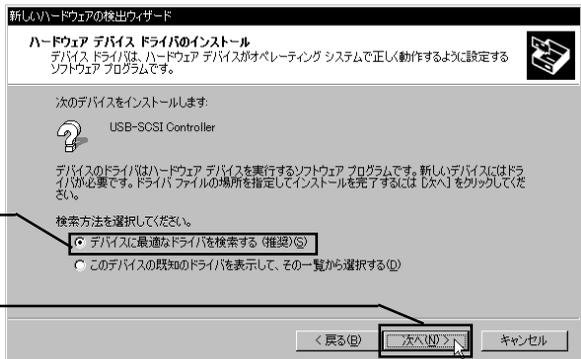
続いて、SCSI コントローラの部分が認識され、再び「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。



「次へ」をクリック

8

1. 「デバイスに最適な・・・」のラジオボタンを「ON()」にして、



2. 「次へ」をクリック

3.2 SCSIエミュレーション用ドライバのインストール

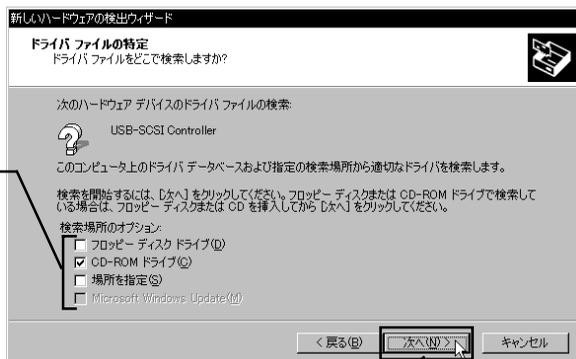
3.2.4 Windows 2000 の場合

9

下のウィンドウが表示されます。

1. 「CD-ROM ドライブ」だけがチェックされた状態で、

2. 「次へ」をクリック

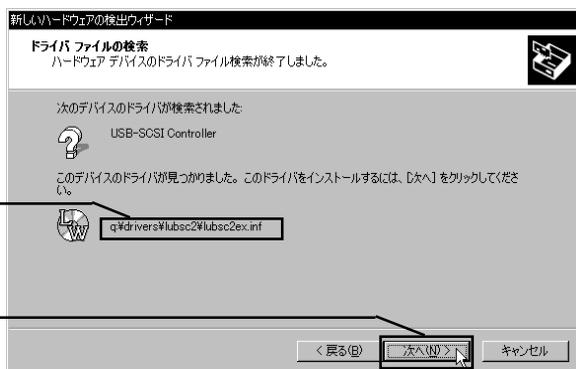


10

下のウィンドウが表示されます。「このデバイスのドライバが見つかりました。・・・」の下に「q:\drivers\ubsc2\ubsc2ex.inf」と表示されていることを確認して「次へ」をクリックしてください。

1. この部分を確認して

2. 「次へ」をクリック



10

下のウィンドウが表示されます。(表示されない場合はへお進み下さい。)

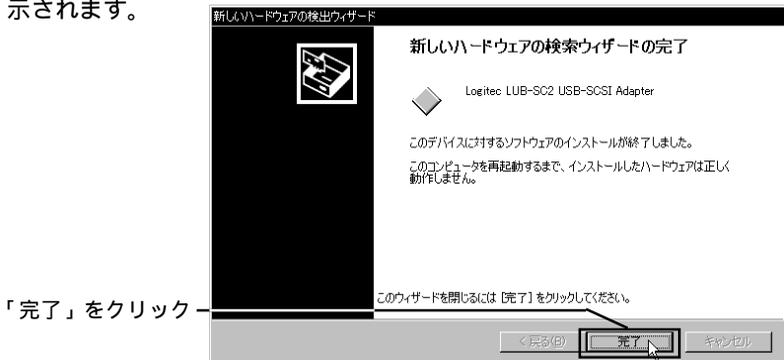


参考

本製品用のドライバは「MicroSoft デジタル署名」を取得していませんので、上記のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000上で正常に動作することを確認して提供しています。

11

必要なファイルがシステムに転送され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。

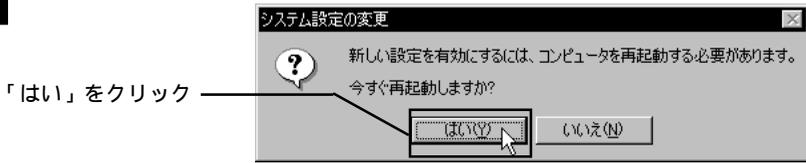


3.2 SCSIエミュレーション用ドライバのインストール

3.2.4 Windows 2000 の場合

12

コンピュータを再起動するメッセージが表示されます。



13

コンピュータが再起動したらドライバのインストールは終了です。最後に「デバイスマネージャ」で結果の確認をします。

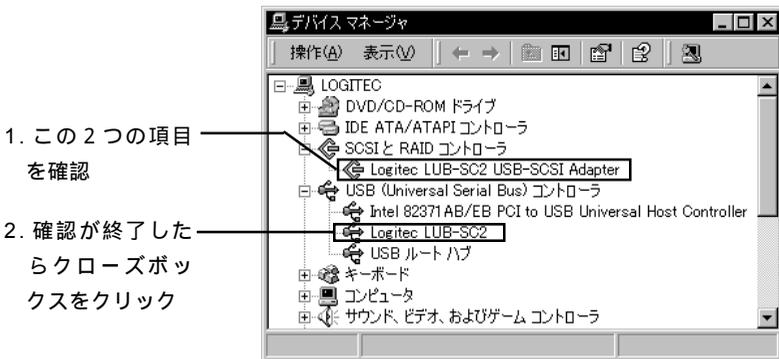
デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」が表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」に以下の2つのデバイスが登録されていることを確認します。

「SCSIとRAIDコントローラ」をダブルクリックして開き、
「Logitech LUB-SC2 USB-SCSI Adapter」があることを確認。

「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックして開き、
「Logitech LUB-SC2」があることを確認。



デバイスが登録されていたら、本製品と接続先のSCSI機器の認識はうまくいっています。次に本製品とSCSI機器の取り外しについて説明いたしますので、「3.3 本製品を取り外す場合は」へお進みください。

3.3 本製品を取り外す場合は

USB-SCSI 変換ケーブルはホットプラグオフ(パソコンの電源がONのままでの取り外し)に対応していますが、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品と本製品に接続した SCSI 機器を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

1

接続先のディスクドライブに保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

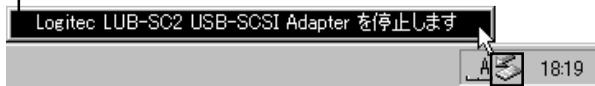
(接続先がMOドライブなどの場合、ドライブにメディアが入っている場合は、これを取り外してください。)

2

タスクバーのシステムトレイにあるアイコンをクリックして、表示されるメニューから取り外したいドライブ名を選択してください。

Windows 2000 での例

このアイコンをクリック



この項目をクリック

Point

ポイント

項目に表示されるメッセージは使用OSにより異なります。以下をご参照ください。

Windows XP

Logitech LUB - SC2 USB-SCSI Adapter を安全に取り外します

Windows 2000

Logitech LUB - SC2 USB-SCSI Adapter を停止します

Windows Me , 98

停止 [SCSI Adapter] Logitech LUB - SC2 USB-SCSI Adapter

3.3 本製品を取り外す場合は

3

Windows Me、98、2000 では、本製品と本製品に接続した SCSI 機器を取り外しても良いというメッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。(このメッセージも環境により異なります。)

Windows 2000 の場合



OK ボタンをクリック

Windows XP の場合も、本製品と本製品に接続した SCSI 機器を取り外しても良いというメッセージが表示されますが、このメッセージは一定時間で自動的に消えますので特に操作をする必要はありません。



4

本製品を USB ポートから外し、SCSI 機器の電源を OFF にしてください。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

USB-SCSI変換ケーブルを接続しても、
ドライバのインストールが開始されない。

USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタに接触不良などがないかどうか確認してください。

接続にUSBハブを使用している場合は、パソコン本体のUSBコネクタにUSB-SCSI変換ケーブルを直結して試してみてください。これで問題ない場合は、USBハブに原因があります。そのUSBハブはバスパワーを供給できるタイプですか？ バスパワーを供給できないUSBハブは使用できません。

ときどきエラーが発生するなど、
SCSI機器の動作が安定しない。

ターミネータは正しく設定/接続されていますか？
複数のSCSI機器を接続している場合、SCSIケーブル(SCSI機器同士を接続するケーブル)のケーブル長は長すぎませんか？ また、インピーダンスの低いケーブルを使用していませんか？ 可能であればSCSIケーブルを交換して試してみてください。

複数のSCSI機器を接続している場合、接続の順番を変更してみると安定する場合もあります。

USB-SCSI変換ケーブルで接続した
SCSI機器が認識されない。

SCSI機器の電源がONになっていることを確認してください。

ケーブル(USB-SCSI変換ケーブル、SCSIケーブル)の接続に、接触不良などがないかどうかを確認してください。

ターミネータは正しく設定/接続されていますか？

4.1 トラブルシューティング

USB-SCSI 変換ケーブルで接続した SCSI 機器が認識されない。
(続き)

IDナンバーは重複していませんか？ 併用している SCSI 機器間で ID ナンバーを確認してください。また、本製品は ID ナンバー「7」を使用しています。SCSI 機器の ID ナンバーは、以下のように設定して下さい。

USB ディスクモードで使用している場合、「0」に設定。
SCSI エミュレーションモードで使用している場合は「1」～「6」の範囲で重複しないように設定。

その SCSI 機器はハードディスクではないですか？ ハードディスクはフォーマットが終了するまで、「マイコンピュータ」に登録されません。

複数の SCSI 機器を接続している場合、認識されない SCSI 機器だけを接続して試してみてください。これで正常に認識される場合、SCSI ケーブルのケーブル長が長すぎるなどの原因が考えられます。また、これでも正常に認識されない場合は、その SCSI 機器自体の故障が考えられます。

Windows XP でドライバのインストール時、
「Windows ログテスト」から先に進めない。

Windows XP の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。この設定は「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「システム」「ハードウェア」タブ「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、コンピュータの管理者によってこの設定が行われている場合は、コンピュータの管理者にご相談ください。

Windows 2000 でドライバのインストール時、
「Microsoft デジタル署名」から先に進めない。

Windows 2000 の「ドライバ署名オプション」が初期状態から変更されていると、このような現象が発生します。この設定は「コントロールパネル」「システム」「ハードウェア」タブ「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

CD-R/RW ユニットで書き込みエラーが頻発する。

パソコン本体の接続先のポートはUSB 2.0ポートですか？パソコン本体がUSB 2.0に対応していない場合、転送速度はUSB 1.1のFull-Speed（12Mbps）までとなります。USB 1.1は転送速度が遅いため、CD-R/RWユニット自体が4倍速以上の書き込みに対応していても、USB-SCSI変換ケーブルを使用した接続では書き込み速度を4倍速以下で使用してください。

書き込み時にCD-R/RWユニット以外をUSB-SCSI変換ケーブルに接続し、それをアクセスしようとしていませんか？特にイメージファイル保存用のハードディスクをUSB-SCSI変換ケーブルに接続してはいけません。

USB-SCSI変換ケーブルをUSBハブ経由で接続している場合は、USB-SCSI変換ケーブルをパソコン本体のUSBコネクタに直結して試してみてください。

SCSIエミュレーションモードで、複数のSCSI機器をデジチェーンで接続している場合、本製品にCD-R/RWユニットだけを接続して試してみてください。

その他

SCSI機器のマニュアルには、その機種に特有のトラブルシューティングが掲載されている場合もありますので、そちらもご参照ください。

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

4 . 2 SCSI 機器別の作業

最後に、本製品に接続した SCSI 機器別に、ドライバのインストール後の作業についての概要を説明します。(詳しくはご使用の SCSI 機器のマニュアルをご参照下さい。)

HD ユニットの接続した場合

HD ユニットの接続した場合は、新規接続した HD ユニットのフォーマットを行わなければなりません。

Windows Me , 98 の場合

付属の「LogitechWare」CD-ROMから「ディスクユーティリティ」をインストールし、その中の「ディスクフォーマッタ」でフォーマットを行ってください。

Windows XP、2000 の場合

管理者権限を持つグループのメンバーとしてログオンして、Windows 標準のユーティリティ「ディスクの管理」でフォーマットを行ってください。

「ディスクの管理」を表示するには、「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「管理」を選択します。「コンピュータの管理」のウィンドウが表示されたら、ツリーから「記憶域」の下の「ディスクの管理」を選択してください。

MO ユニットを接続した場合

MOユニットを接続した場合は、本製品のドライバがインストールされると、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクのアイコンが追加されます。

MOユニットにフォーマットされたMOメディアをセットして、リムーバブルディスクのアイコンをダブルクリックすると、MOメディアにアクセスすることができます。MOメディアのフォーマットは付属の「LogitecWare」CD-ROMに保存されたユーティリティで行います。

Windows Me , 98 の場合

「LogitecWare」CD-ROMから「ディスクユーティリティ」をインストールし、その中の「ディスクフォーマッタ」でMOメディアのフォーマットを行ってください。

Windows XP、2000 の場合

「LogitecWare」CD-ROMから「ディスクユーティリティ」をインストールし、その中の「MOメディアフォーマッタ」でMOメディアのフォーマットを行ってください。

CD-R/RWユニット、DVD-RAMユニットを接続した場合

CD-R/RW、DVD-RAMユニットを接続した場合、本製品のドライバがインストールされると、「マイコンピュータ」にCD-ROMのアイコンが登録されます。CD-ROMの読み出しを行いたい場合は、CD-R/RWユニットにCD-ROMをセットして、このアイコンをダブルクリックしてください。

CD-ROMの読み出しができることを確認したら、CD-R/RW、DVD-RAMユニット付属のライティングソフトウェアをインストールしてください。手順についてはライティングソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

ハードウェア仕様

機種名		LUB - SC2	
インターフェース	USB	USB 2.0/ 1.1	
	SCSI	Ultra SCSI *1	
コネクタ形状	USB	USB シリーズ A	
	SCSI	D - sub ハーフピッチ 50 ピン	
最大データ転送速度 *2	USB 2.0	480Mbps	
	USB 1.1	12Mbps	
SCSI機器の最大接続台数		USB ディスクモード : 1 台	
		SCSI エミュレーションモード : 6 台	
入力電圧 *3		DC +5V	
消費電流 (最大)		560mA : SCSIターミネータパワー 480mA USB バスパワー 80mA	
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
ケーブル長		1メートル	
重量		約100 g	

*1 3 台接続時は Fast SCSI、4 台以上は非同期転送

*2 理論値

*3 SCSI ターミネータパワーと USB バスパワーより供給

*4 ただし結露なきこと

Macintosh 編

目次

第 1 章 製品のご紹介	57
1.1 製品概要	57
1.2 動作モードについて	58
1.3 使用環境について	60
第 2 章 ドライバのインストール	62
2.1 ドライバのインストール（共通）	62
第 3 章 USB ディスクモードでの接続と使用について	66
3.1 接続の手順	66
3.2 フォーマットについて	69
3.2.1 フォーマッタソフトのインストール	69
3.2.2 MO メディアのフォーマット	71
3.2.3 HD ユニットのフォーマット手順	75
3.3 取り外しなどに関して	78
第 4 章 SCSI エミュレーションモードでの接続と使用について	80
4.1 接続の手順	80
4.2 接続後の作業	84
4.2.1 SCSI 機器をデスクトップ上に表示させるには	84
4.2.2 取り外しについて	84
4.2.3 SCSI 機器別の作業	84
第 5 章 補足事項	85
5.1 トラブルシューティング	85
5.2 Mac OS X での使用について	88
ハードウェア仕様	89

第 1 章

製品のご紹介

1.1 製品概要

本製品はアップルコンピュータ、マッキントッシュシリーズに接続し、使用することのできる USB -SCSI 変換ケーブルです。

本製品の特徴

USB 対応の Macintosh 本体に SCSI 機器をつなぐことができます。

USB ディスクモードと SCSI エミュレーションモードの 2 つのモードに対応しています。

USB ディスクモードでは面倒な設定や制限が少なく簡単に SCSI 機器を接続することができます。

SCSI ディスクモードでは、設定や取り外しに一定の制限がありますが、SCSI 機器を最大 6 台までデジチェーンで接続することができます。

各モードの詳細については、「1.3 ドライバと動作モードについて」をご参照ください。

本製品は SCSI ターミネータパワーと USB バスパワーを利用して動作します。AC アダプタ等が必要ありませんので、すっきりと接続することができます。



ご注意

Macintosh では、現時点で USB 2.0 がサポートされておりません。USB 1.1 の Full-Speed までの対応となります。

1.1 製品概要



ご注意

・本製品に接続したMOユニットでは、スーパーフロッピー形式でフォーマットされた640MB、1.3GB、2.3GB MOメディアを扱うことはできません。(これは「PC Exchange」、「File Exchange」の制限ですので、Macintosh形式であれば問題ありません。)

1.2 動作モードについて

本製品はパソコンに接続する際、2種類の動作モードを選ぶことができます。ご使用になるSCSI機器にあわせて動作モードを選択してください。

1 .USB ディスクモード

このモードでは、本製品に接続されたMO/HDユニットが、システム側からUSB仕様の記憶装置デバイスとして認識されます。

システム側からUSB仕様の記憶装置デバイスとして認識されるため、従来SCSI機器では不可能だったホットプラグ(パソコンの電源がONのままの接続)が可能です。また、MO/HDのフォーマットには本製品付属の専用フォーマッタを使用することができますので、別売りのフォーマッタソフトウェアは必要ありません。

ただし、このモードでは以下のような制限があります。

- ・接続できる機器はハードディスク、MOユニットのみです。その他のSCSI機器は「SCSIエミュレーションモード」で使用して下さい。
- ・接続可能台数は1台のみです。通常のSCSIインターフェースのようにデジチェーンで複数のSCSI機器を接続することはできません。

2. SCSIエミュレーションモード

このモードでは、本製品がSCSIインターフェースとしてシステムに認識されます。

このモードのメリットは最大6台までのSCSI機器（CD-R/RWユニットを含む）を、本製品にデジチェーン接続できることです。（ただしケーブル長の制限があるため、常に6台接続可能なわけではありません。）

複数のSCSI機器を接続する場合や、CD-R/RW等の「USBディスクモード」で動作できないSCSI機器を接続する場合は、「SCSIエミュレーションモード」で使用してください。「SCSIエミュレーションモード」では、本製品がSCSIホストアダプタとして動作します。

このモードでは、本製品がSCSIホストアダプタとして認識されるため、ホットプラグはできません。

ご注意



- ・Mac OS XではSCSIエミュレーションモードは使用できません。USBディスクモードでご使用下さい。
- ・接続可能なSCSI機器は、特に制限を設けてありませんが、全てのSCSI機器の完全動作を保証するものではありません。

Point

本製品にMO/HDユニットを一台のみ接続する場合はUSBディスクモードでご使用下さい。詳細につきましては、第2章、第3章をご参照下さい。

本製品にCD-R/RWユニットを接続したい場合や、複数のSCSI機器をデジチェーン接続したい場合はSCSIエミュレーションモードでご使用下さい。詳細につきましては第2章、第4章をご参照下さい。

1.3 使用環境について

対応パソコンについて

本製品を使用する際は、以下の環境で使用することができます。

アップルコンピュータ社

iMac

Power Mac G4

Power Macintosh G3 (Blue and White)

iBook

PowerBook G4

PowerBook (FireWire)

PowerBook G3 (Bronze Keyboard)

対応 OS について

本製品に対応する OS は以下の通りです。全て日本語版 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

アップルコンピュータ社

Mac OS 8.6

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.1

Mac OS X 10.0.4 以降

SCSI 機器について

SCSI 機器については順次接続確認を行っています。最新情報については弊社ホームページをご参照ください。(すべてのSCSI機器を確認することは不可能ですので、一部に対応できない機器が存在する可能性があることはご承知おきください。)



ご注意

- ・ USB 1.1 ポートに接続して CD-R/RW ユニットで CD-R/RW メディアに書き込みを行う場合、USB 1.1 の転送速度が SCSI よりも遅いため、以下のような制限が発生します。
 - ・ 本製品を USB ハブ経由で接続しないでください。パソコン本体の USB コネクタに直接接続してください。
 - ・ 書き込み時には、本製品に CD-R/RW ユニット以外の SCSI 機器を接続しないでください。また、不要な USB 機器はなるべく接続を外しておいてください。
 - ・ 書き込み速度は 4 倍速以下にしてください。ライティングソフトウェアでは 4 倍速を超える速度が表示されますが、4 倍速を超える速度は選択しないでください。
 - ・ オンザフライ書き込みやオンザフライでの CD のバックアップを行う場合は書き込み速度を 2 倍速以下に設定して下さい。
 - ・ ISO9660 の CD-R/RW 書き込み時などに使用されるイメージファイル保管用のハードディスクは、本製品に接続しないでください。
-

第2章 ドライバのインストール

2.1 ドライバのインストール（共通）

本製品を使用するために、接続の前に以下の手順で付属のドライバをインストールしておかなければなりません。ここでは「USB ディスクモード」と「SCSI エミュレーションモード」両方のドライバを同時にインストールします。



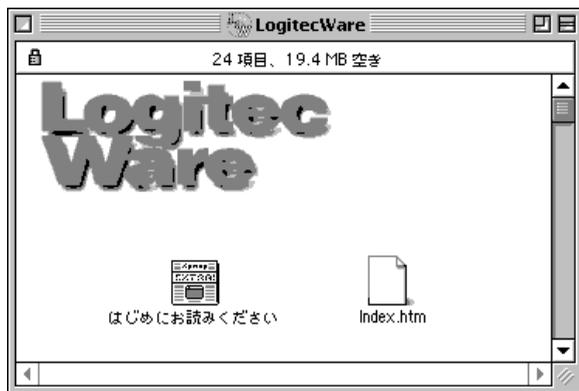
ご注意

Mac OS X では本製品のドライバをインストールして使用することはできません。Mac OS X をご使用の場合は、「5.2 Mac OS X での使用について」をご参照下さい。

1

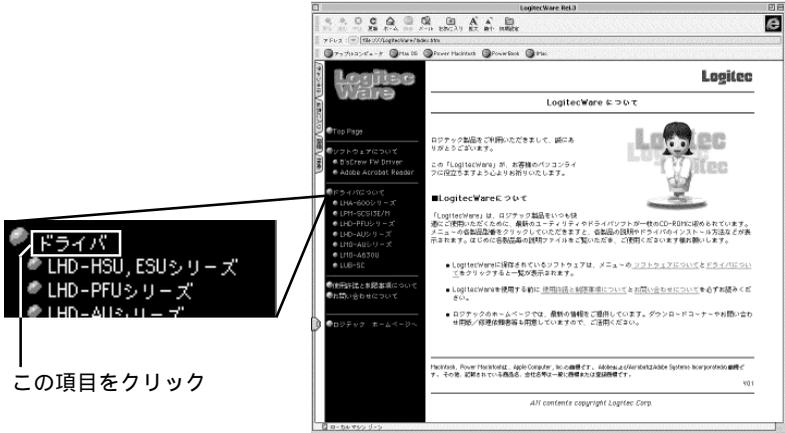
Macintosh のシステムを起動して、本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

下のウィンドウが開いたら、「Index.htm」のアイコンをダブルクリックして開いてください。



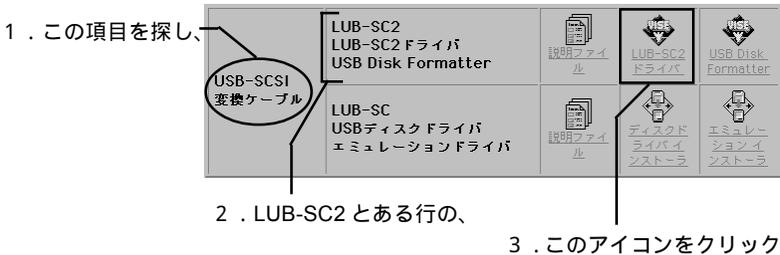
2

右下のようなウィンドウがブラウザで表示されます。ここで、左のメニューから「ドライバ」をクリックして下さい。



3

メニューの右側に収録されたドライバの一覧が表示されます。これをスクロールして、「USB-SCSI 変換ケーブル」の項目を探し、項目内の「LUB-SC2、LUB-SC2 ドライバ、USB Disk Formatter」が表示されている行の「LUB-SC2 ドライバ」と書かれた部分をクリックして下さい。

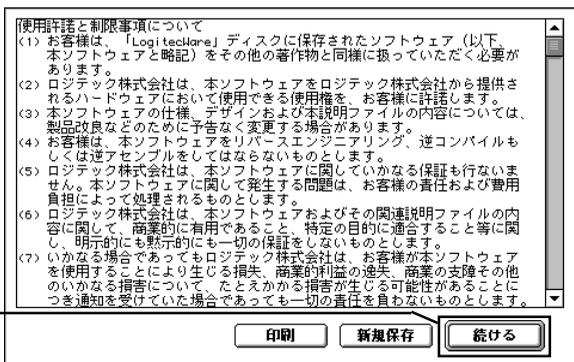


2.1 ドライバのインストール（共通）

4

使用許諾等が表示されます。

内容を確認して同意
する場合は「続ける」
をクリック



5

ドライバをインストールするドライブを選択するウィンドウが表示されます。選択されたドライブの「機能拡張」フォルダにインストールされます。

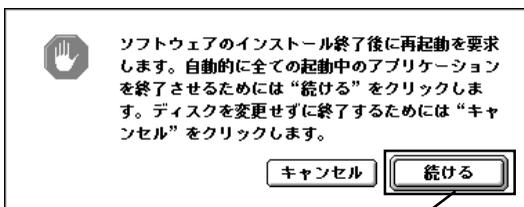
特に支障がない場合はそのまま、「インストール」をクリック



6

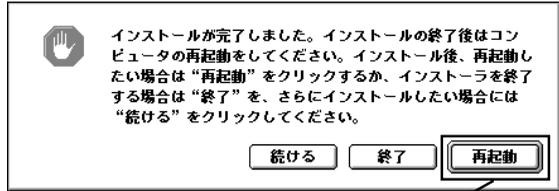
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認のメッセージが表示されます。

他のプログラムが起動してないことを確認したら、「続ける」をクリック



7

必要なファイルが転送され、終了すると下のウィンドウが表示されます。



「再起動」をクリック

8

システムが再起動したらドライバのインストールは完了です。「LogitechWare」CD-ROM を、CD-ROM ドライブから取り出して下さい。続いて、本製品の接続を行います。

USB ディスクモードで接続する場合は、

第3章「USB ディスクモードでの接続と使用について」へお進み下さい。

SCSI エミュレーションモードで接続する場合は、

第4章「SCSI エミュレーションモードでの接続と使用について」へお進み下さい。

2

第3章

USB ディスクモードでの 接続と使用について

本章では、本製品をUSBディスクモードで接続・使用する方法について説明します。

3.1 接続の手順

3 本製品をUSBディスクモードで使用する場合、以下の手順でMO/HDユニット、USB-SCSI変換ケーブル、パソコン本体を接続してください。接続の順番を間違えると、MO/HDユニットが認識されない場合がありますのでご注意ください。

1

まず最初に、MO/HDユニットの準備をします。MO/HDユニットは1台のみ接続可能です。

- ・IDナンバーは「0」に設定してください。
- ・MO/HDユニットにターミネータが内蔵されている場合は、これを「有効」に設定してください。(設定方法についてはMO/HDユニットのマニュアルをご参照ください。)MO/HDユニットにターミネータが内蔵されていない場合は、外付けのターミネータを接続して下さい。

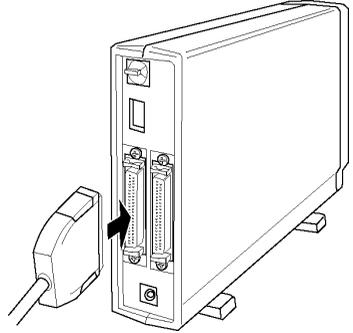


ご注意

- ・ここで、間違ったIDナンバーを使用すると本製品は認識されません。IDナンバーは必ず「0」に設定してください。
 - ・USBディスクモードで使用できるSCSI機器は、ハードディスク、MOに限定されます。他の機種をご使用の場合(たとえばCD-R/RW等)は、本製品をSCSIエミュレーションモードで使用しなくてはなりません。「2.2.2 SCSIエミュレーションモードでの接続」へお進みください。
-

3

USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ(大きい方)をSCSI機器のSCSIコネクタに接続します。軽く引いて抜けないことを確認してください。



参考

イラストはターミネータ内蔵のSCSI機器の場合です。ターミネータを内蔵していないSCSI機器の場合は、外付けターミネータを接続してください。

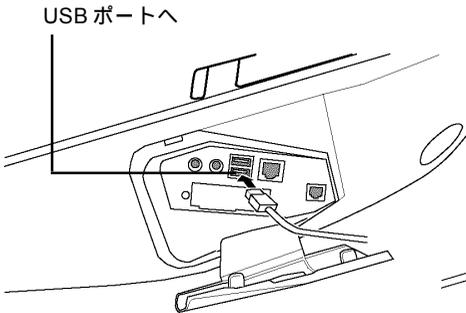
4

SCSI機器の電源コード(もしくはACアダプタ)をAC100Vのコンセントに接続し、電源をONにします。

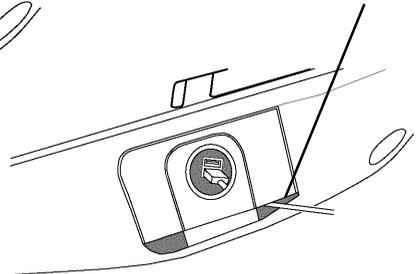
SCSI機器の電源表示ランプが点灯することを確認してください。(アクセス表示ランプが一時的に点灯した場合は、消灯するまで待ってください。)

5

USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを、Macintosh本体のUSBポートに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。



iMacシリーズの場合は、しっかり接続したらケーブルを挟み込まないように下部の隙間に逃がしてから、カバーを閉じてください。

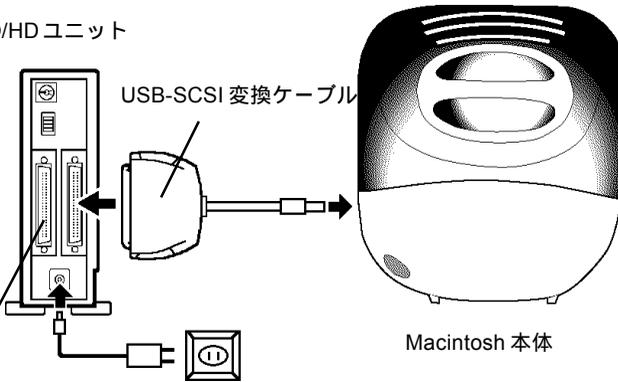


6

以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。

- ・MOユニットを接続した場合、Macintoshのシステムが起動していれば、この状態で接続したMOユニットを使用することができます。フォーマットされたMOメディアをMOユニットにセットすると、デスクトップ上にMOメディアのアイコンが表示されます。MOメディアのフォーマット手順は3.2.2節で説明します。
- ・HDユニットを接続した場合、未フォーマットのHDユニットを使用するにはフォーマットを行わなければなりません。フォーマット手順は3.2.3節で説明します。

MO/HDユニット



ターミネータを内蔵していないMO/HDユニットの場合はここに外付けのターミネータを接続します。

3.2 フォーマットについて

3.2.1 フォーマッタソフトのインストール

USBディスクモードで使用する場合、MO/HDユニットのフォーマットは、専用フォーマッタ「USB Disk Formatter」で行います。フォーマットの前に、以下の手順で「USB Disk Formatter」をインストールしておいて下さい。

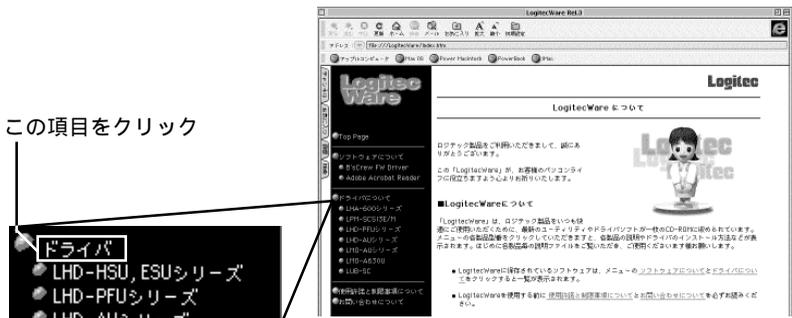
1

Macintoshのシステムを起動して、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。下のウィンドウが開いたら、「Index.htm」のアイコンをダブルクリックして開いてください。



2

右下のようなウィンドウがブラウザで表示されます。ここで、左のメニューから「ドライバ」をクリックして下さい。



3.2 フォーマットについて

3.2.1 フォーマッタソフトのインストール

3

メニューの右側に収録されたドライバの一覧が表示されます。これをスクロールして、「USB-SCSI 変換ケーブル」の項目を探し、項目内の「LUB-SC2、LUB-SC2 ドライバ、USB Disk Formatter」表示されている行の「USB Disk Formatter」と書かれた部分をクリックして下さい。

1. この項目を探し、



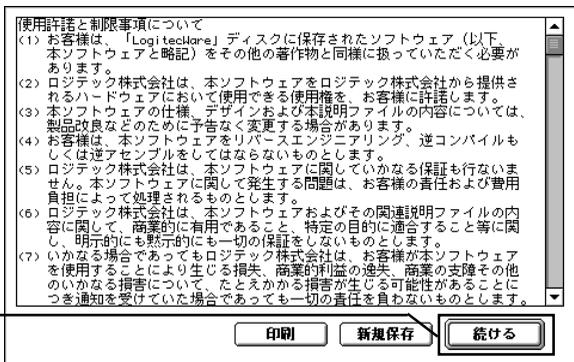
2. LUB-SC2 とある行の、

3. このアイコンをクリック

4

使用許諾等が表示されます。

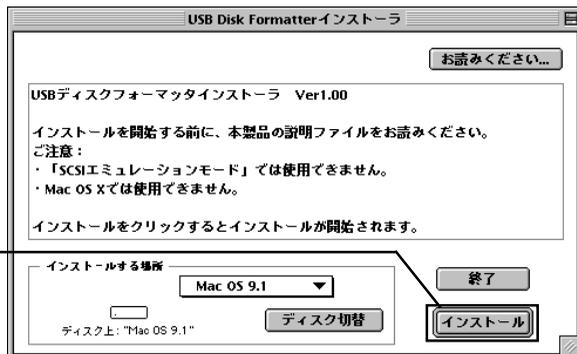
内容を確認して同意する場合は「続ける」をクリック



5

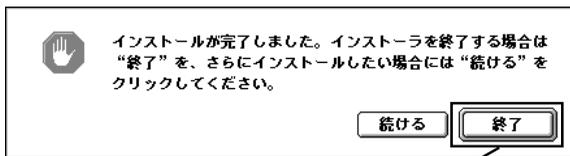
付属のフォーマッタをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

特に支障がない場合はそのまま、「インストール」をクリック



5

インストールが終了し、下のウィンドウが表示されます。



「終了」をクリック

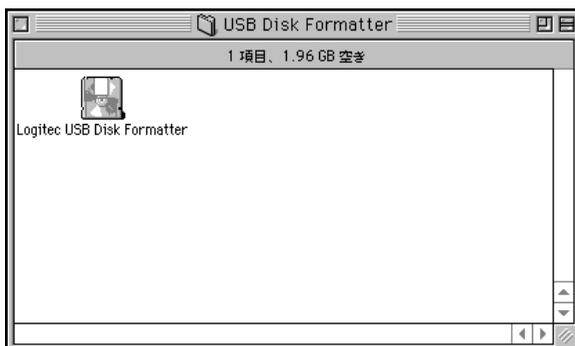
以上でフォーマットソフトウェアのインストールは完了です。

3

3 . 2 . 2 MOメディアのフォーマット

1

MOユニットを接続した状態で、フォーマットソフトウェアのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitech USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



3.2 フォーマットについて

3.2.2 MOメディアのフォーマット

2

フォーマッタが起動して以下のウィンドウが開きます。ここでMOメディアをセットして下さい。



3

セットされたMOメディアに関する情報が表示されます。

フォーマットされていないMOメディアをセットした場合は、「フォーマット」の欄に「不明」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。

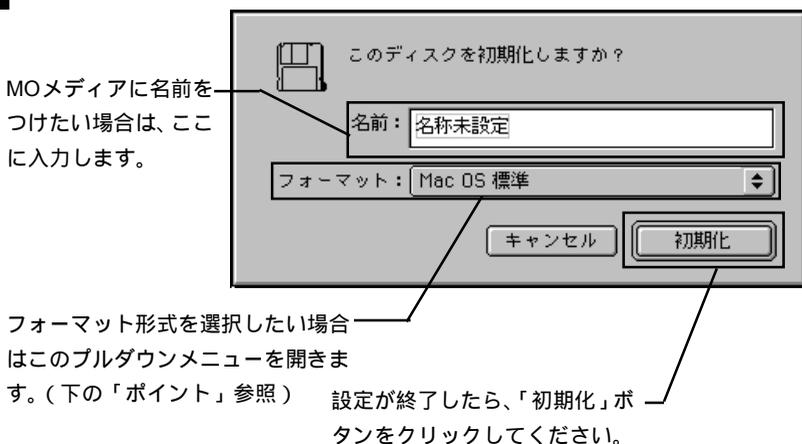


参考

- ・「マウント」ボタンは、何かの原因でマウントされなかったMOメディアを強制的にマウントするものですが、フォーマット時には使用しません。
- ・「取り出し」ボタンは、本製品にセットされたMOメディアを取り出すためのものです。間違ったMOメディアをセットした場合などに使用してください。

4

下のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行ってください。



Point

ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GBなどの大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

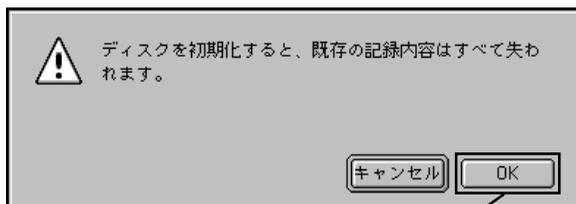
Mac OS 8.1 からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS8.0 以前のシステムではアクセスできなくなります。

3.2 フォーマットについて

3.2.2 MOメディアのフォーマット

5

確認のメッセージが表示されます。



フォーマットしてもいいことを確認したら、 OK ボタンをクリックしてください。

3

6

フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、右のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。



確認が終了したら、「取り出し」ボタンをクリックして、MOメディアを取り出してください。

7

以上でMOメディアのフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマットを終了してください。



参考

一度上記の手順でフォーマットを行ったMOメディアを再フォーマットする場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用することも可能です。

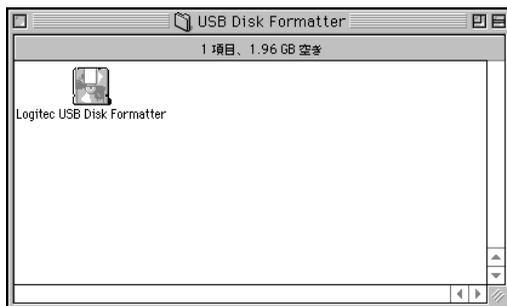
3.2.3 HDユニットのフォーマット手順

1

USB-SCSI変換ケーブルでHDユニットをMacintosh本体に接続してください。(フォーマットされていないハードディスクを接続した場合は、接続が完了しても認識されません。)

2

フォーマッタソフトウェアのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitech USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



3

フォーマッタが起動して、以下のウィンドウが開きます。ここで「フォーマット」が「不明」になっているのは、未フォーマットのHDユニットが接続されているためです。もし、この欄が「不明」以外のフォーマット形式になっている場合は、そのHDユニットはフォーマット済みです。再フォーマットしても良いことを確認してください。問題なければ「ディスクの初期化」と書かれたボタンをクリックして下さい。

1. この部分を確認
2. 初期化しても良いことを確認したら「ディスクの初期化」をクリック



3.2 フォーマットについて

3.2.3 HDユニットのフォーマット手順

4

右下のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行ってください。

ボリュームに名前を付けたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式を選択したい場合はこのプルダウンメニューを開きます。(ページ下のポイント参照。)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。



ご注意

「Mac OS 標準」、「Mac OS 拡張」のどちらを選択した場合でも、USBディスクモードで使用するハードディスクを複数のパーティションに分割することはできません。

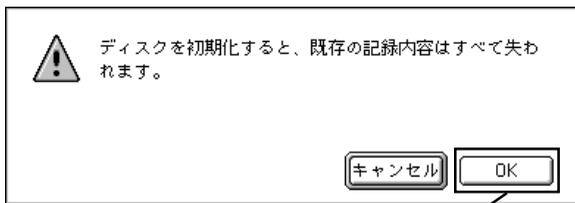
Point

ポイント

- ・フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- ・再フォーマットを行う場合は、メニューバーの「特別」-「ディスクの初期化」をクリックしてください。

5

確認のメッセージが表示されます。フォーマットしても良いことを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

6

フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、下のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択した
ものになっていることを確認
してください。



7

以上でHDユニットのフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューからフォーマッタを終了して下さい。

3.3 取り外しなどに関して

システムを終了していない状態で USB-SCSI 変換ケーブルを取り外すには

USB ディスクモードではホットプラグオフがサポートされていますので、システムを終了していない状態（Macintosh 本体の電源が ON の状態）で USB-SCSI 変換ケーブルを取り外すことも可能です。ただし、これを行う場合は以下の手順を踏んでください。

デスクトップ上に MO/HD のアイコンがマウントされている場合はこれをアンマウントしてください。アンマウントは以下のどれかの方法で行います。

- ・ MO/HD のアイコンをごみ箱のアイコンに重ねる。
- ・ MO/HD のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。
- ・ MO/HD のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、「アップルキー + E」を入力する。

MO ユニットの場合、いずれの方法でアンマウントしても、MO メディアがイジェクトされますので、取り出しておいてください。

デスクトップ上に MO/HD のアイコンがなくなったら、USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを外してください。

MO/HD ユニットの電源を OFF にしてください。



ご注意

HD/MO ユニットにアクセス中には絶対に USB-SCSI 変換ケーブルを取り外さないで下さい。

USB-SCSI 変換ケーブルを 接続した状態でシステムを終了するには

USB-SCSI 変換ケーブルを Macintosh 本体に接続した状態でシステムを終了する場合は、特にUSB-SCSI変換ケーブルを意識する必要はありません。Mac OS 標準の手順でシステムを終了し、Macintosh 本体の電源がOFFになったら、MO/HD ユニットの電源もOFF にしてください。

すべての機器の電源がOFF になったら、必要に応じてUSB-SCSI 変換ケーブルを取り外してください。

第4章 SCSIエミュレーションモードでの接続と使用について

本章では、本製品をSCSIエミュレーションモードで接続・使用する方法について説明します。

4.1 接続の手順

本製品をSCSIエミュレーションモードで使用する場合、以下の手順でSCSI機器、USB-SCSI変換ケーブル、パソコン本体を接続してください。接続の順番を間違えると、SCSI機器が認識されない場合がありますのでご注意ください。

はじめにSCSI機器の準備をします。以下の点に注意して接続を行ってください。(SCSIエミュレーションモードでは、SCSI機器を最大6台まで接続することができます。)

- ・複数のSCSI機器を接続する場合は、SCSI機器のIDナンバーを「1」～「6」の範囲で重複しないように設定してください。(SCSIエミュレーションモードで使用する場合はID「0」に機器を設定しないで下さい。)
- ・終端(パソコン本体から最も遠い位置)に接続するSCSI機器は、内蔵ターミネータを「有効」に設定するか、外付けのターミネータを接続してください。
終端以外の位置に接続するSCSI機器は、すべてターミネータを「無効」にしてください。
- ・複数のSCSI機器を接続する場合、SCSI機器同士を接続するSCSIケーブルは、SCSI機器に付属のものをご使用ください。もしSCSIケーブルが添付されていない場合は、接続するSCSIコネクタの形状にあわせて別途ご用意ください。
ケーブル長の合計とSCSI機器の接続台数は次ページの表に従いますが、ケーブル長はなるべく短くなるようにした方が動作が安定します。(ケーブル長にはUSB-SCSI変換ケーブルの長さを含みません。)

接続台数	ケーブル長の合計
3台以下	2m 以下
4台 ~ 6台	1.5m 以下

ケーブル長の合計と SCSI 機器の接続台数。

ケーブル長はなるべく短くなるようにした方が動作が安定します。
ケーブル長には USB-SCSI 変換ケーブルの長さを含みません。

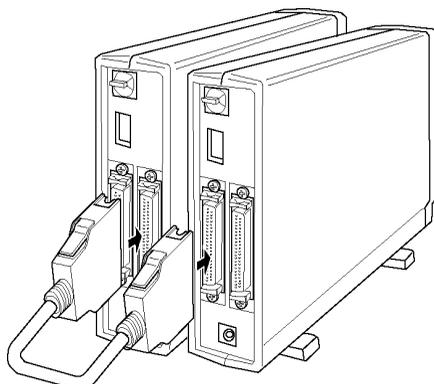


ご注意

- ・接続台数が多い方が条件が厳しくなるため、ケーブル長の合計は短く制限されます。
- ・ここで、間違ったIDナンバーを使用すると本製品は認識されません。IDナンバーは必ず「1」～「6」に設定してください。
- ・現在MacintoshシリーズではUSB 2.0はサポートされていないため、本製品の最大転送速度はUSB 1.1のFull-Speedまでとなります。このため、高速でのデータ転送が必要な機器（例えばDVD-R/RW等）によっては使用できないものもあります。

2

SCSI 機器の設定が終わったら、接続する SCSI 機器同士を SCSI ケーブルですべて接続しておいてください。軽く引いて抜けないことを確認してください。



ご注意

イラストはターミネータ内蔵のSCSI機器の場合です。ターミネータを内蔵していないSCSI機器の場合は、外付けターミネータを接続してください。

4.1 接続の手順

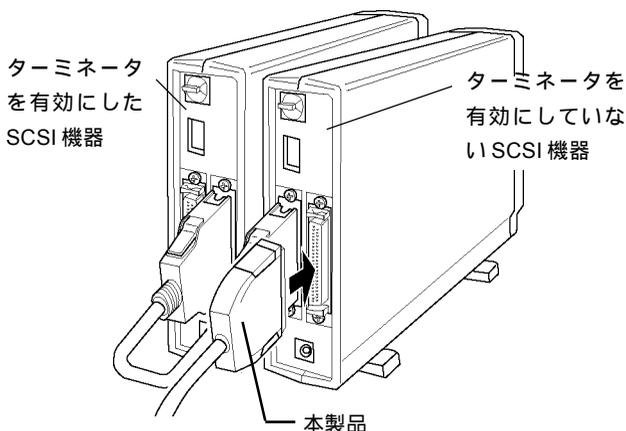


ご注意

オートターミネーション機能を持つSCSI機器の場合は、必ずSCSI INコネクタがUSB-SCSI変換ケーブルに近い方、SCSI OUTコネクタが終端に近い方になるように接続してください。逆にすると、内蔵ターミネータが正常に制御されません。

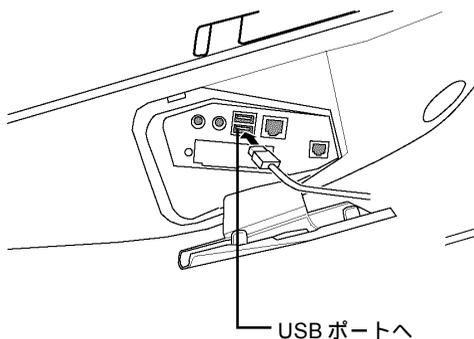
3

USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ(大きい方)をSCSI機器(ターミネータを「有効」にしていない方)のSCSIコネクタに接続します。軽く引いて抜けないことを確認してください。

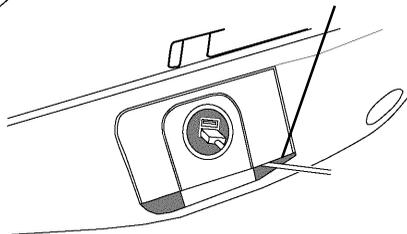


4

Macintosh 本体の電源がOFFになっていることを確認して、USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを、Macintosh本体のUSBポートに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。

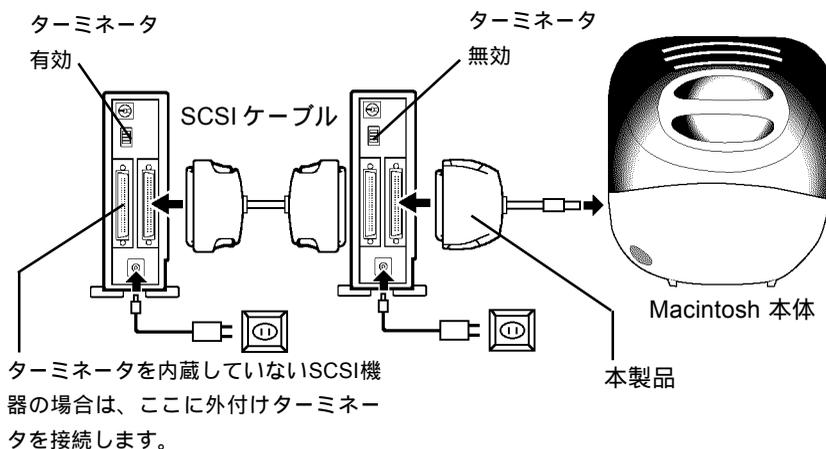


iMacシリーズの場合は、しっかり接続したらケーブルを挟み込まないように下部の隙間に逃がしてから、カバーを閉じてください。



5

以上で接続は完了しました。下の図と比べて間違いがないか確認して下さい。



間違いがないことを確認したら、SCSI 機器 Macintosh 本体の順に電源を ON にしてシステムを起動して下さい。



ご注意

SCSIエミュレーションモードはホットプラグに対応していませんので、本製品と本製品に接続されたSCSI機器の取り付け・取り外しは必ずシステムが起動していない状態で行って下さい。

4 . 2 接続後の作業

4 . 2 . 1 SCSI 機器をデスクトップ上に表示させるには...

接続作業が終了しても、接続された SCSI 機器はデスクトップ上にマウントされません。SCSI エミュレーションモードでは、SCSI 機器は従来通り SCSI 機器に付属しているソフトウェアを使用してマウントさせなければなりません。

ご使用の SCSI 機器付属のソフトウェアをインストールしてマウントしてください。

(通常はフォーマットソフトウェアや CD-R/RW のライティングソフトウェアにドライバが付属していますが、詳しくはご使用の SCSI 機器のマニュアルをご参照下さい。)

4 . 2 . 2 取り外しについて

本製品の取り外しは、必ずシステムが起動していない状態で行って下さい。SCSI エミュレーションモードではアンマウントはできませんのでご注意下さい。

4 . 2 . 3 SCSI 機器別の作業

SCSI エミュレーションモードでは、接続された SCSI 機器は従来通り、通常の SCSI 機器として認識されますので、MO/HD のフォーマットや CD-R/RW の書き込みなどは、SCSI 機器付属のソフトウェアを使用して行って下さい。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

USB-SCSI 変換ケーブルで接続した

SCSI 機器が認識されない。

SCSI 機器の電源が ON になっていることを確認してください。

電源は正しい順番で入れましたか？ SCSI エミュレーションモードで使用する場合は、SCSI 機器 Macintosh 本体の順番で電源を入れなくてはなりません。

ケーブル (USB-SCSI 変換ケーブル、SCSI ケーブル) の接続に、接触不良などがどうかを確認してください。

ターミネータは正しく設定 / 接続されていますか？

ご使用のフォーマットソフトのマウント機能を使って試みて下さい。

USB ディスクモードで MO/HD ユニット以外の SCSI 機器を接続していませんか？ USB ディスクモードでは、MO/HD の他は認識されません。SCSI エミュレーションモードで再度試してみてください。

SCSI エミュレーションモードで、ご使用の SCSI 機器が MO/HD の一台の場合は USB ディスクモードで使用してみてください。

ID ナンバーは重複していませんか？ 併用している SCSI 機器間で ID ナンバーを確認してください。また、本製品は ID ナンバー「7」を使用しています。SCSI 機器の ID ナンバーは、以下のように設定して下さい。

USB ディスクモードで使用している場合、「0」に設定。SCSI エミュレーションモードで使用している場合は「1」～「6」の範囲で重複しないように設定。

USB-SCSI 変換ケーブルで接続した

SCSI機器が認識されない。(続き)

複数のSCSI機器を接続している場合、認識されないSCSI機器だけを接続して試してみてください。これで正常に認識される場合、SCSIケーブルのケーブル長が長すぎるなどの原因が考えられます。また、これでも正常に認識されない場合は、そのSCSI機器自体の故障が考えられます。

ときどきエラーが発生するなど、

SCSI機器の動作が安定しない。

ターミネータは正しく設定/接続されていますか？

複数のSCSI機器を接続している場合、SCSIケーブル(SCSI機器同士を接続するケーブル)のケーブル長は長すぎませんか？ また、インピーダンスの低いケーブルを使用していないですか？ 可能であればSCSIケーブルを交換して試してみてください。

複数のSCSI機器を接続している場合、接続の順番を変更してみると安定する場合もあります。

CD-R/RW ユニットで書き込みエラーが頻発する。

Macintoshでは、現在USB 1.1のFull-Speed(12Mbps)までしかサポートされていないため、CD-R/RWユニット自体が4倍速以上の書き込みに対応していても、USB-SCSI変換ケーブルを使用した接続では書き込み速度を4倍速以下で使用して下さい。

書き込み時にCD-R/RWユニット以外をUSB-SCSI変換ケーブルに接続し、それをアクセスしようとしていませんか？ 特にイメージファイル保存用のハードディスクをUSB-SCSI変換ケーブルに接続してはいけません。

USB-SCSI変換ケーブルをUSBハブ経由で接続している場合は、USB-SCSI変換ケーブルをパソコン本体のUSBコネクタに直結して試してみてください。

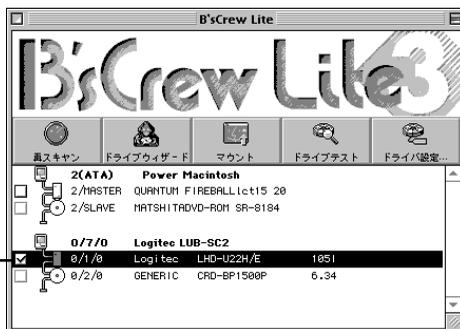
SCSIエミュレーションモードで、複数のSCSI機器をデジチェーンで接続している場合、本製品にCD-R/RWユニットだけを接続して試してみてください。

ロジテック製のハードディスクがBHA社の「B'sCrew Lite」を使用してもマウントされない

「B'sCrew Lite」の設定を以下のように変更する必要があります。

- ・「B'sCrew Lite」を起動し、本製品に接続されたハードディスクドライブを選択して、左側にあるチェックボックスを有効に設定して下さい。

このチェックボックスにチェック「レ」を入れて下さい。



- ・このチェックボックスを有効に設定するためには、次のように初期設定を変更する必要があります。

「B'sCrew Lite」の「編集」メニューから、「初期設定を選択」して、表示される「初期設定」ウィンドウ内の、「起動時設定(リムーバブルディスク)」の項目で、「全てのデバイスをスキャンしてリムーバブルディスクドライブを探す(個別のチェックボックスは無効)」のチェックボックスを外して、「OK」ボタンをクリックして下さい。

その他

SCSI 機器のマニュアルには、その機種に特有のトラブルシューティングが掲載されている場合もありますので、そちらもご参照ください。

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

5 . 2 Mac OS X での使用について

接続について

本製品を Mac OS X でご使用の場合は、接続先の SCSI 機器の電源を入れ、本製品を Macintosh 本体に接続すると、Mac OS X 標準ドライバが自動的にインストールされます。OS からは、USB ディスクとして認識されるので、ホットプラグが可能です。Macintosh 本体の電源が ON のまま本製品を接続しても構いません。ただし、以下の点に注意して下さい。

Point

接続の際は SCSI 機器の ID ナンバーを必ず「0」に設定して下さい。これ以外の番号を設定すると本製品は認識されません。

Mac OS X では、USB ディスクモードとして動作するため、接続できる SCSI 機器は 1 台のみに制限されます。また、SCSI エミュレーションモードは使用できません。

接続可能機種について

本製品を使用して Mac OS X で使用することができる SCSI 機器は、ハードディスク、MO のみになります。

フォーマットについて

本製品を使用して接続されたハードディスク、MO メディアのフォーマットは、Mac OS X 標準の Disk Utility からってください。

取り外しについて

取り外しに関しては通常の USB ディスクモードでの取り外し手順と同じですので、第 3 章「3 . 3 取り外しなどに関して」をご参照下さい。

ハードウェア仕様

機種名		LUB - SC2	
インターフェース	USB	USB 2.0/ 1.1	
	SCSI	Ultra SCSI *1	
コネクタ形状	USB	USB シリーズ A	
	SCSI	D - sub ハーフピッチ 50 ピン	
最大データ転送速度 *2	USB 2.0	480Mbps	
	USB 1.1	12Mbps	
SCSI機器の最大接続台数		USB ディスクモード : 1 台	
		SCSI エミュレーションモード : 6 台	
入力電圧 *3		DC + 5V	
消費電流 (最大)		560mA : SCSIターミネータパワー 480mA USB バスパワー 80mA	
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
ケーブル長		1メートル	
重量		約100 g	

*1 3 台接続時は Fast SCSI、4 台以上は非同期転送

*2 理論値

*3 SCSI ターミネータパワーと USB バスパワー
より供給

*4 ただし結露なきこと

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

オンラインユーザー登録について

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお勧めします。

L-site <http://www.logitec.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称/シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・保証期間経過後の修理については、お見積りもりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 伊那サービスセンター（3番受入窓口）

TEL : 0265-74-1423 FAX : 0265-74-1403

受付時間：祝祭日を除く月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス()等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただきますよう、お願いいたします。

Logitech USB 2.0 - SCSI 変換ケーブル・ユーザズマニュアル

2005年 12月改訂

LUB-SC2 V02

製造元：ロジテック株式会社

